

HP Vectra VE シリーズ7

アップグレード/メンテナンス・
ガイド

ご注意

本書に記載した内容は、予告なしに変更することがあります。

本書に記載した内容は、特定の目的に対する商品性や適合性を保証するものではなく、当社はそれらに関して責任を負いません。また、本書の記載の誤り、あるいは本書の配布、内容、利用にともなって生じる偶発的、結果的損害に関して責任を負いません。

本書の内容は、著作権によって保護されています。本書の一部または全部を書面による事前の許可なくして複写、転載、翻訳することは禁止されています。

Microsoft[®]、NT[®]および Windows[®] は、Microsoft Corporationの米国における登録商標です。

Hewlett-Packard France
Corporate Desktop Computing Division
38053 Grenoble Cedex 9
France

© 1998 日本ヒューレット・パカード株式会社

© 1998 Hewlett-Packard Company

アップグレード/メンテナンス・ガイド

本書をお読みになる方へ

本書は、次の項目について説明しています。

- 設定方法
- アクセサリのインストール方法
- トラブルシューティング
- 詳しい情報とサポートの入手方法

PCのセットアップと使用方法については、本PCに付属の『ユーザーズ・ガイド』を参照してください。また本ガイドは、本PC用MISキットにも収録されています(viページを参照)。

安全性についての重要事項

警告

PCやディスプレイを一人で持ち上げられないようなときは、必ず誰かに手伝ってもらってください。

安全のため、電源コードは必ずアース付きのコンセントに接続してください。電源コードは、本製品に付属のものか、国内の規格に合ったアース・プラグ付きのものを使用してください。本製品を電源から遮断するには電源コードをコンセントから抜く必要があります。本製品は、コンセントにすぐ手が届くようにコンセントの近くに設置してください。

安全のため、カバーを取り外す場合は、必ずコンセントから電源コードを取り外し、通信ネットワークへの接続も切り離してください。また、必ずPCにカバーを取り付けてから電源スイッチを入れてください。

感電防止のため、電源装置は決して開けないでください。

本PCは、クラス1レーザ製品です。レーザ・ユニットの調整は行わないでください。

MIS Kitのご案内

本書は、MISキットに収録されています。MISキットは、次のHP サポート・サイトからダウンロードできます。

<http://www.hp.com/go/vectrasupport/>

MIS Kitの内容

- 『Using Sound on Your PC』 本PCのサウンド・システムを最大限ご活用いただくための方法を説明しています(マルチメディア・モデルの場合、ハードディスク・ドライブにも収録されています)。
- 『ユーザーズ・ガイド』 PCのセットアップ方法について詳しく説明しています。また、アクセサリの増設およびトラブルシューティングについても簡単に説明しています。
- 『アップグレード/メンテナンス・ガイド』 本書
- 『Familiarization Guide』 サポート/保守担当者の方を対象としたトレーニング・ガイド
- 『Network Administrator's Guide』 ネットワーク管理者の方を対象としたネットワーク・ドライバのインストール・ガイド
- 『Service Handbook』 HP パーツ番号をはじめ、増設および交換用部品に関する情報

この他に、HPではサービスおよびサポートに関する幅広い情報をWeb上で提供しております。次のHP Webサイトにアクセスしてご覧ください。

<http://www.hp.com/go/vectra/>

目次

1 デスクトップPCへのアクセサリのインストール方法

インストールできるアクセサリ	2
カバーの取り外しと取り付け	3
カバーの取り外し	3
アクセサリをインストールした後のカバーの取り付け	4
メモリのインストール	5
メイン・メモリのインストール	5
大容量記憶装置のインストール	7
IDEデバイスの接続	7
インストール後のIDEデバイスの設定	9
IDEハードディスク・ドライブを内部シェルフにインストールする	10
フロント・シェルフへのCD-ROMドライブ、テープ・ドライブ、 Zipドライブのインストール	13
アクセサリ・ボードのインストール	18
ボードをインストールする	19
Plug and Play対応アクセサリ・ボードの設定	21
Plug and Play非対応ISAアクセサリ・ボードの設定	22
セキュリティ・ケーブルのインストール	23
バッテリーの交換	24
キー・ロックのインストール	26

2 ミニタワー PC へのアクセサリのインストール方法

インストールできるアクセサリ	28
カバーの取り外しと取り付け	29
カバーの取り外し	29
アクセサリをインストールした後のカバーの取り付け	30
電源装置の取り外しと取り付け	31
メモリのインストール	32
メイン・メモリのインストール	32
大容量記憶装置のインストール	34
IDE デバイスの接続	34
インストール後のIDE デバイスの設定	36
3.5 インチ・ハードディスク・ドライブを内部シェルフに インストールする	37
Zip ドライブ、CD-ROM ドライブ、テープ・ドライブのインストール	40
アクセサリ・ボードのインストール	44
ボードをインストールする	45
Plug and Play 対応アクセサリ・ボードの設定	47
Plug and Play 非対応ISA アクセサリ・ボードの設定	47
セキュリティ・ケーブルのインストール	48
バッテリーの交換	49
キー・ロックのインストール	51

3 セキュリティ機能

パスワードの設定	54
BIOSパスワードの使用	54
管理者パスワードの設定	55
ユーザ・パスワードの設定	55

4 トラブルシューティング

PCが起動できないとき	58
その他の問題	58
電源が入らないとき	59
画面に何も表示されないとき	60
メモリ・テストエラーが表示されるとき	61
キーボード/マウス・テストエラーが表示されるとき	62
フロッピーディスク・ドライブ・テストエラーが 表示されるとき	63
ハードディスク/CD-ROMドライブ・テストエラーが 表示されるとき	64
CMOSテストエラーが表示されるとき	65
シリアル/パラレル・ポート・テストエラーが表示されるとき	66
その他の構成上の問題	67
起動時のBeepコード	68
PCをオフにできないとき	69
パスワードを忘れたとき	70
Wake On LAN機能が動作しないとき	71

IRQの設定に問題があるとき (サウンド・ボードをインストールした場合).....	72
オーディオに問題があるとき	73
ソフトウェアに問題があるとき	74
ハードディスクの内容の復元	75
ハードディスクの交換.....	75
CD-ROMからソフトウェアを復元する (Windows 95およびWindows NT搭載システム).....	76
2基目のハードディスク・ドライブからソフトウェアを復元する (WindowsNT搭載システム).....	76
Windows NT4 SP3とHPソフトウェア・コンポーネントのインストール	77
NT 4およびService Pack 3のインストール	78
その他のソフトウェアのインストール	79
BIOSの修復.....	80
HP DiagTools.....	82
デバイスのブート順	84
技術情報	85
システム・ボード・スイッチ	85
電力消費.....	86
音響ノイズ・エミッション.....	86
物理的特性.....	87
本PCが使用するIRQ、DMA、I/Oアドレス	88
HPサポートおよびインフォメーション・サービス.....	90
索引	93

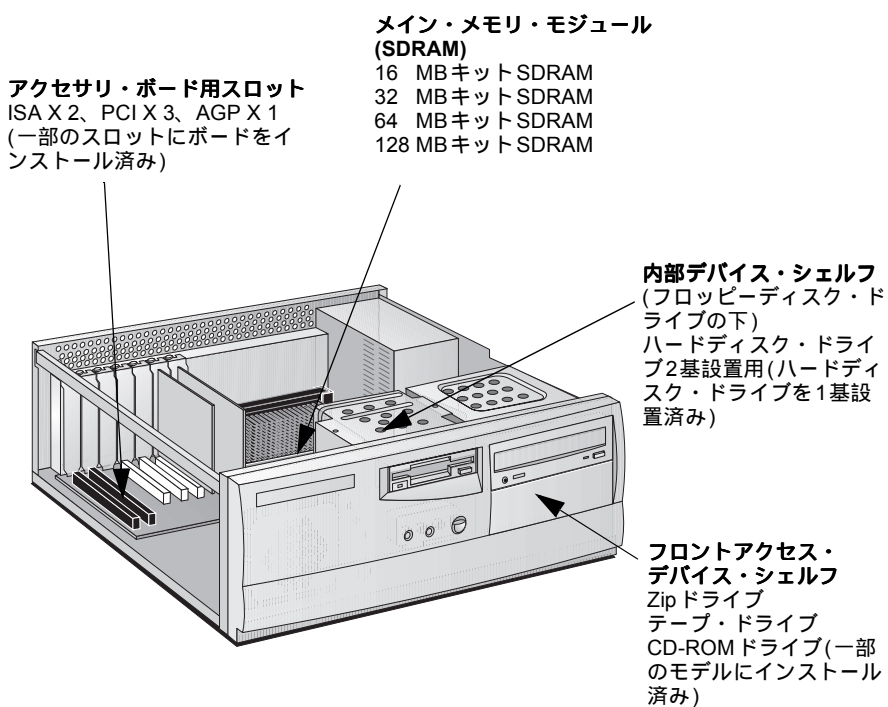
1

デスクトップPCへのアクセサリのインストール方法

本章ではメモリ、アクセサリ・ボード、ハードディスクなどをPCにインストールする方法について詳しく説明します。

1 デスクトップ PC へのアクセサリのインストール方法 インストールできるアクセサリ

インストールできるアクセサリ



LAN カードなど、増設したアクセサリによっては、サービス・パック 3 を再インストールする必要があります (Windows NT 4.0 のみ)。この場合、ビデオ・カード用ドライバの再インストールも必要です。ハードディスクのマスタ・ドライバのディレクトリ (C:\SETUP\VIDEODRV) に必要なドライバが用意されています。ドライバは、次の HP ウェブ・サイトからダウンロードすることもできます。

<http://www.hp.com/go/vectrasupport/>

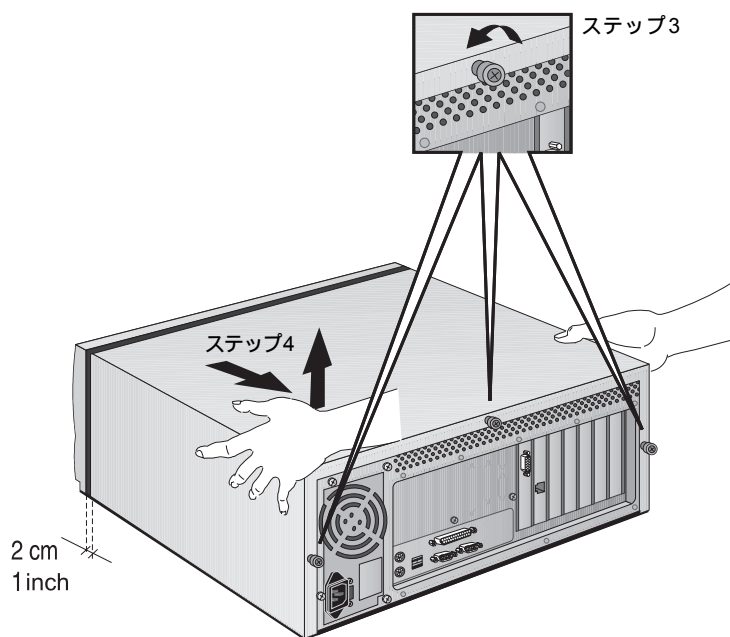
1 デスクトップ PC へのアクセサリのインストール方法 カバーの取り外しと取り付け

警告

安全のため、PCのカバーを取り外す前に必ず、コンセントから電源コードを外し、通信ネットワークへの接続を外してください。また必ず、PC本体にカバーを取り付けてからPCのスイッチを入れてください。

カバーの取り外し

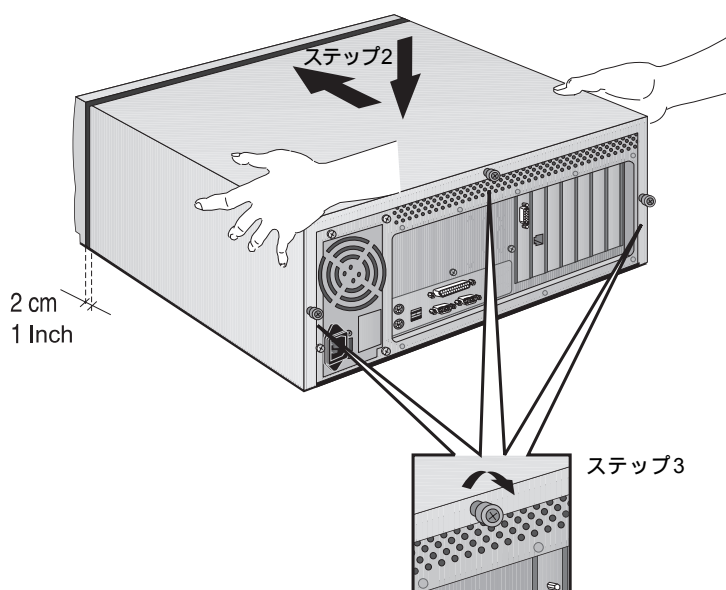
- 1 ディスプレイとPC本体の電源をオフにします。
- 2 電源コードと通信ケーブル等をすべて取り外します。
- 3 PCの背面にある3本のネジを取り外します。はじめてカバーを外す場合は、ネジまわしでネジをゆるめる必要があります。
- 4 PCの背面に立ち、カバーを手前に20mmほど引き出し、PC本体から取り外します。



1 デスクトップ PC へのアクセサリのインストール方法 カバーの取り外しと取り付け

アクセサリをインストールした後のカバーの取り付け

- 1 すべてのアクセサリのインストールが完了したことを確認します。内部ケーブルの接続や配線状態が適切かどうか確認します。
- 2 PCの背面に立ち、カバーをPC本体にかぶせて、(カバー内側の角にあるレールとPC本体の側面を合わせながら)定位置までスライドさせます。
- 3 PC背面の3本のネジをしめます。



- 4 すべてのケーブルと電源コードを接続します。

1 デスクトップ PC へのアクセサリのインストール方法 メモリのインストール

メモリのインストール

注意

静電気によって、電子部品が損傷を受けることがあります。この作業中はすべての装置の電源を切り、また衣服がアクセサリに触れないようにします。静電気の影響を避けるため、アクセサリを包みから取り出すときは、PC本体の上に置いてください。また、アクセサリの取り扱いは最少限にとどめ、取り扱いには十分注意してください。アクセサリを持つ時は端を持ち、コンポーネントやコネクタに触れないようにします。

メイン・メモリのインストール

本PCにはすでにメイン・メモリがインストールされています。アプリケーションを実行するためにメモリを増設する場合は、合計256 MB(128 MBモジュール×2)までインストールできます。

メイン・メモリには、16 MB、32 MB、64 MB、または128 MBモジュールを使用できます。メモリ「バンク」(スロット)は2つあり、それぞれのバンクはSDRAMメモリ・モジュールをサポートしています。

必要に応じ、異なるサイズのモジュールを組み合わせて使用できます。例えば、あるスロットに32 MBモジュールを装着し、別のスロットに64 MBモジュールを装着することが可能です。

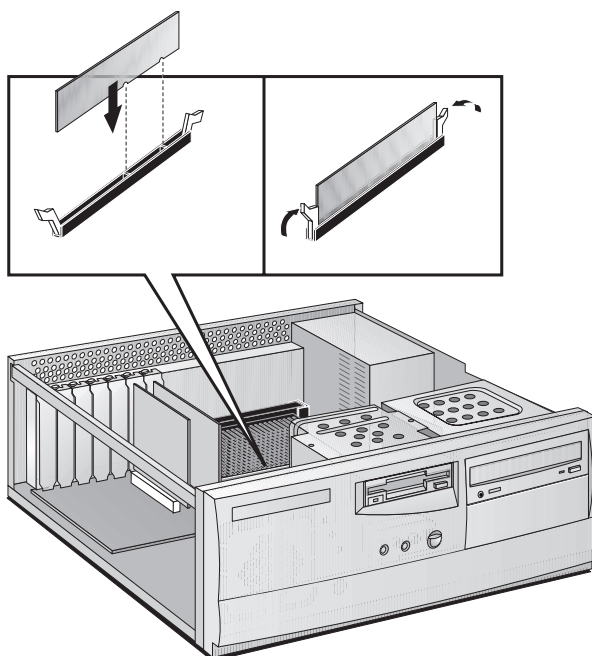
注記

ECC(Error Correcting Code)メモリ・モジュールをインストールすることもできますが、本PCではエラーの修正は行われません。ECCメモリと非ECCメモリを組み合わせで使用することもできます。

1 デスクトップ PC へのアクセサリのインストール方法 メモリのインストール

メイン・メモリ・モジュールをインストールするには

- 1 PC本体から電源コード、通信ネットワークへの接続等を取り外します。
- 2 PC本体のカバーを取り外します。
- 3 メモリ・モジュールを、システム・ボードに対して直角になるようにスロットのソケットに差し込みます (モジュールは、ソケットに対し、一方向にしか差し込めない形になっています)。
- 4 メモリ・モジュールをソケットに完全に押し込み、固定用クリップをはめて固定します。



メイン・メモリ・モジュールを取り外すときは、固定用クリップを外してから、モジュールを手前に引いてソケットから引き抜きます。

- 5 その他のアクセサリをすべてインストールしたら、カバーを取り付けます。すべてのケーブルと電源コードを接続します。
- 6 サマリ画面で、新しい構成を確認します (サマリ画面を表示するには、起動中に Vectra のロゴが表示されたら **[Esc]** キーを押します)。

1 デスクトップ PC へのアクセサリのインストール方法 大容量記憶装置のインストール

大容量記憶装置のインストール

注記

IDE 以外の大容量記憶装置や CD-ROM ドライブもインストールできますが、その場合にはアクセサリ・ボードやドライバ・ソフトウェアが必要となります(通常は、ドライブに付属しています)。詳細は、各メーカーにお問い合わせください。

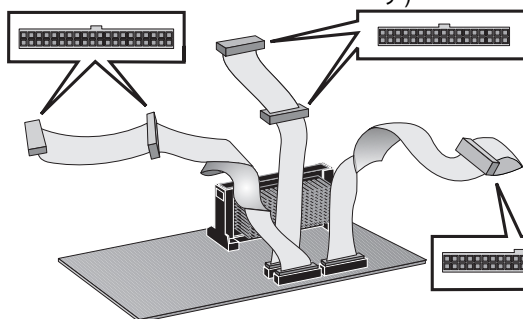
記憶装置の増設が必要になった場合は、記憶装置を新たに増設することができます。本 PC にはハードディスク・ドライブと、(現在内蔵されているフロッピーディスク・ドライブ以外に) フロント・アクセス・デバイスをそれぞれ 2 台までインストールすることができます。モデルによっては、フロント・アクセス・ドライブ用のシェルフに CD-ROM ドライブがあらかじめインストールされています。

IDE デバイスの接続

IDE ZIP ドライブ、ハードディスク・ドライブ、CD-ROM ドライブ、テープ・ドライブなどを増設する場合、電源コードとデータ・ケーブルに接続する必要があります。データ・ケーブルの種類と形状は次の図のとおりです。

IDE ハードディスク・ドライブ用データ・ケーブル
(マスタ・コネクタはケーブルの先端にあります)

CD-ROM ドライブ用データ・ケーブル
(マスタ・コネクタはケーブルの先端にあります)



注: プリインストールの CD-ROM ドライブがない場合、CD-ROM ケーブルは付いていません。

フロッピーディスク・ドライブ用データ・ケーブル (IDE 以外)

1 デスクトップ PC へのアクセサリのインストール方法

大容量記憶装置のインストール

使用するデータ・コネクタ PCには、モデルに応じて、2本または3本のデータ・ケーブルがあります。CD-ROMドライブがある場合は3本、CD-ROMドライブがない場合は2本になります。ケーブルには次の3種類のケーブルがあります。

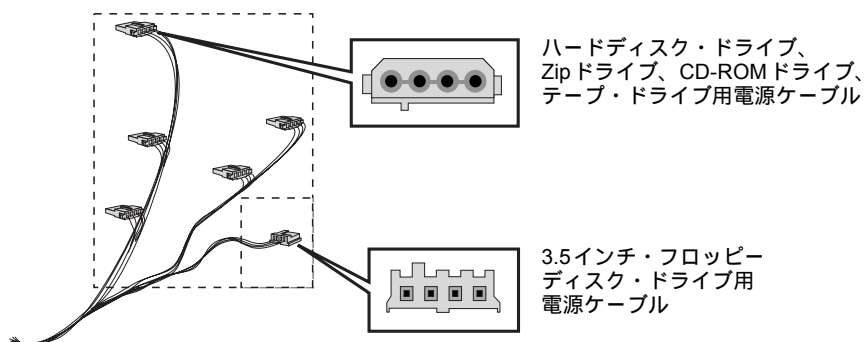
- Enhanced Ultra ATA IDE (Integrated Drive Electronics) ハードディスク・ドライブ用ケーブル。最大2基のIDEハードディスクをサポートします。このうち1つのコネクタはすでに使用されています。2基めのIDEハードディスク・ドライブをインストールする場合は、このケーブルを使用してください(ジャンパ設定や特別なインストール方法の有無については、インストールする記憶装置のマニュアルを参照してください)。
- 2本めのIDEドライブ用ケーブル。2基のIDEデバイスをサポートします。CD-ROMドライブがある場合は、このケーブルが使用されています。CD-ROMドライブがない場合は、PCにこのケーブルは付いていません。2基目のフロッピーディスク・デバイスをインストールする場合は、このケーブルを使用してください(ジャンパ設定や特別なインストール方法の有無については、インストールする記憶装置のマニュアルを参照してください)。
- フロッピーディスク・ドライブ用ケーブル。3.5 インチ・フロッピーディスク・ドライブをサポートしています(接続済み)。

次の表は、増設したデバイスに使用するデータ・ケーブルとコネクタの例です。

複数のIDEデバイスの接続例		
構成	接続に使用するデータ・ケーブルとコネクタ	
ハードディスク x1	1. ブート可能なハードディスク	マスタ・コネクタ、HDD ケーブル
ハードディスク x2	1. ブート可能なハードディスク 2. 2 基目のハードディスク	マスタ・コネクタ、HDD ケーブル スレーブ・コネクタ、HDD ケーブル
ハードディスク x1 CD-ROM ドライブ x1	1. ブート可能なハードディスク 2. CD-ROM ドライブ	マスタ・コネクタ、HDD ケーブル マスタ・コネクタ、CD-ROM ケーブル
ハードディスク x2 CD-ROM ドライブ x1	1. ブート可能なハードディスク 2. 2 基目のハードディスク 3. CD-ROM ドライブ	マスタ・コネクタ、HDD ケーブル スレーブ・コネクタ、HDD ケーブル マスタ・コネクタ、CD-ROM ケーブル
ハードディスク x1 CD-ROM ドライブ x1 Zip ドライブ x1	1. ブート可能なハードディスク 2. CD-ROM ドライブ 3. Zip ドライブ	マスタ・コネクタ、HDD ケーブル マスタ・コネクタ、CD-ROM ケーブル スレーブ・コネクタ、CD-ROM ケーブル
ハードディスク x2 CD-ROM ドライブ x1 Zip ドライブ x1	1. ブート可能なハードディスク 2. 2 基目のハードディスク 3. CD-ROM ドライブ 4. Zip ドライブ	マスタ・コネクタ、HDD ケーブル スレーブ・コネクタ、HDD ケーブル マスタ・コネクタ、CD-ROM ケーブル スレーブ・コネクタ、CD-ROM ケーブル

1 デスクトップ PC へのアクセサリのインストール方法 大容量記憶装置のインストール

使用する電源コネクタ 電源コネクタには、下図に示すとおり、形状の異なる2種類のコネクタがあります。



電源コネクタのいくつかは、既にデバイスに接続されています。上記以外のコネクタが必要なデバイスをインストールする場合は、それに適したコネクタ変換器が必要になります。

起動ドライブの選択 起動(ブート)用ハードディスクを選択するには、Setup プログラムを起動し、**Advanced** メニューの **Advanced CMOS Setup** サブメニューを表示します。次に、1 番目から 4 番目までの起動デバイスをそれぞれ選択します。ハードディスク・ドライブを IDE マスタ・コネクタに接続しただけでは、PC がそのハードディスク・ドライブから起動するとは限りません。PC は Setup プログラムで設定したブート順で起動します。詳細は 84 ページを参照してください。

ジャンパの設定 ドライブのインストール・ガイドを参照し、ジャンパの設定が必要かどうか確認してください。ドライブのジャンパは“cable select”もしくは“CS”の位置に設定されている必要があります。

インストール後の IDE デバイスの設定

IDE ドライブをインストール後、サマリ画面を表示して PC が新しい設定を正しく認識しているか確認する必要があります(サマリ画面を表示するには、起動時に Vectra のロゴが表示されている間に、**[Esc]** キーを押します)。設定が正しくない場合、Setup プログラムを実行してデバイスを設定します (Setup プログラムを開始するには、起動時に Vectra のロゴが表示されている間に、**[F2]** キーを押します)。

1 デスクトップ PC へのアクセサリのインストール方法

大容量記憶装置のインストール

IDE ドライブは、デフォルトで Setup プログラムによって自動的に検出されます(自動検出をオンにするには、Main メニューの IDE チャンネル設定を **Auto** に設定する必要があります)。ただし、新しくインストールした CD-ROM には適切なデバイス・ドライバが必要です。詳しくは、オペレーティング・システムに付属のマニュアルを参照してください。

IDE ハードディスク・ドライブを内部シェルフにインストールする

注意

ハードディスク・ドライブの取り扱いには十分に注意してください。ハードディスクの内部コンポーネントに損傷を与えるような衝撃や乱暴な扱いは避けてください。

ハードディスク・ドライブをインストールする前に、必ず、ファイルのバックアップをとっておいてください。バックアップ方法については、ご使用のオペレーティング・システムのマニュアルを参照してください。

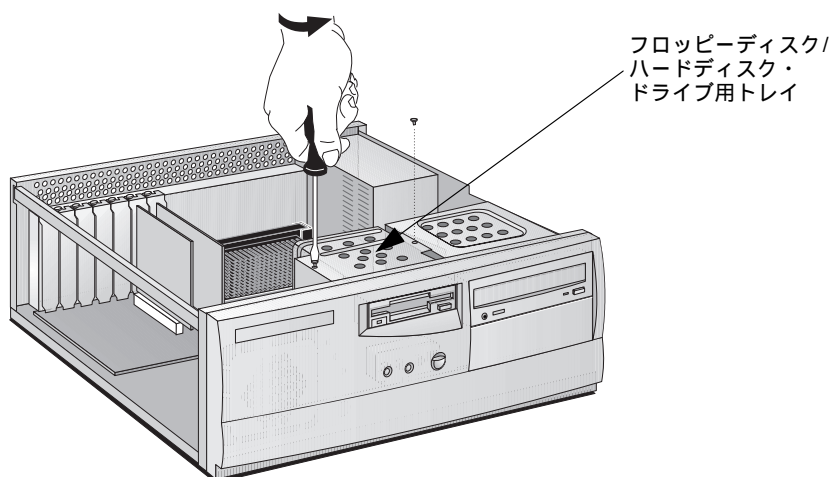
本 PC には、フロッピーディスク・ドライブの下に 3.5 インチのハードディスク・ドライブ用内部シェルフが 2 つあります。一方のシェルフには既にハードディスク・ドライブがインストールされています。もう一方のシェルフに 2 台目の 3.5 インチのハードディスク・ドライブをインストールすることができます。

新しいハードディスクは、次の手順でインストールします。

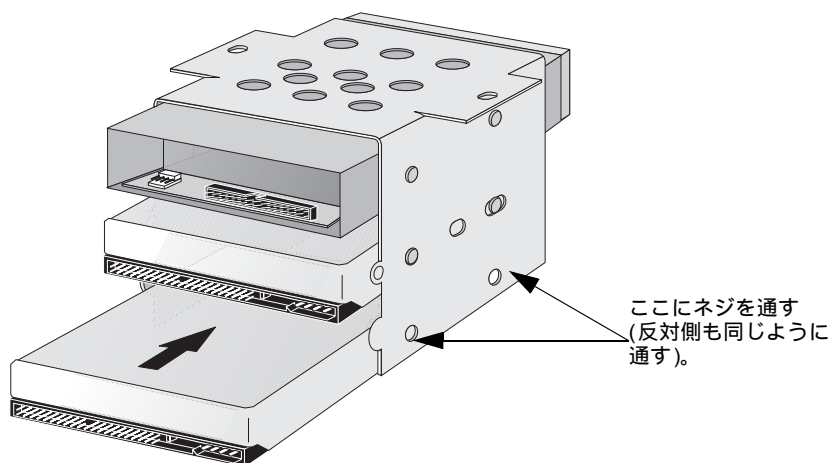
- 1 コンピュータ本体から電源コードと通信ケーブル等を取り外します。
- 2 コンピュータのカバーを取り外します。
- 3 フロッピーディスクの背面および現在設置されているハードディスク・ドライブからデータ・ケーブルと電源ケーブルを取り外します。

1 デスクトップ PC へのアクセサリのインストール方法 大容量記憶装置のインストール

- 4 フロッピーディスク/ハードディスク・ドライブ用トレイ上面の2本のネジを外します。トレイをゆっくり持ち上げてPCから取り出し、机かテーブルの上に置きます。



- 5 新しいハードディスクをドライブ・トレイの空きシェルフに入れ、付属のネジでトレイに固定します。

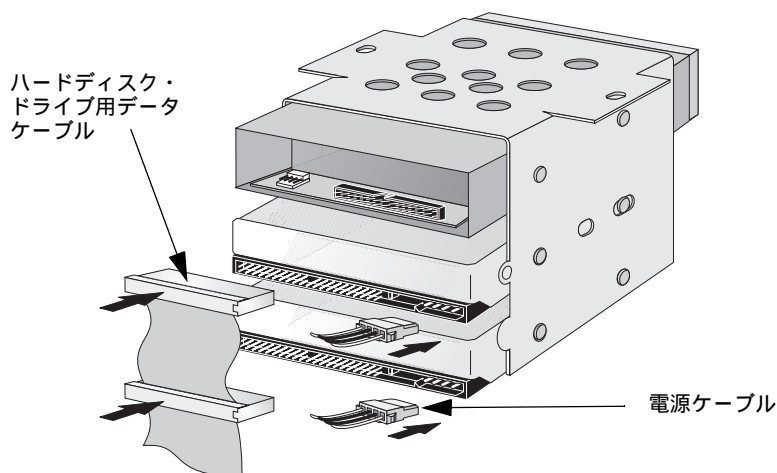


- 6 ドライブ・トレイをゆっくりとPCに戻し入れ、先程外した2本のネジで固定します。

1 デスクトップ PC へのアクセサリのインストール方法 大容量記憶装置のインストール

- 7 電源ケーブルとデータ・ケーブルを新しいハードディスクの背面に接続します。この時、既存のハードディスクとフロッピー・ディスク・ドライブのケーブルも忘れずに接続します。

コネクタは一方方向にしか差し込めない形になっています。使用するコネクタについては、7ページの「IDEデバイスの接続」を参照してください。



- 8 データ・ケーブルや電源ケーブルが他のデバイスの邪魔になったり、PC のカバーに挟まれないよう適切に配線されていることを確かめます。
- 9 カバーを取り付ける前にその他のアクセサリをすべてインストールし、ケーブルや電源コードをすべて接続します。
- 10 サマリ画面で、新しい構成を確認します (サマリ画面を表示するには、起動中に Vectra のロゴが表示されたら **Esc** キーを押します)。

1 デスクトップ PC へのアクセサリのインストール方法 大容量記憶装置のインストール

フロント・シェルフへのCD-ROMドライブ、テープ・ドライブ、Zipドライブのインストール

警告

感電の恐れがあり、また目に損傷を受ける可能性があるため、CD-ROMドライブのカバーは取り外さないでください。修理が必要な場合は、専門の修理担当者に依頼してください。レーザ・ユニットの調整は決して行わないでください。電源要件および波長についてはCD-ROMに添付のラベルを参照してください。これらの製品は、クラス1レーザ製品です。

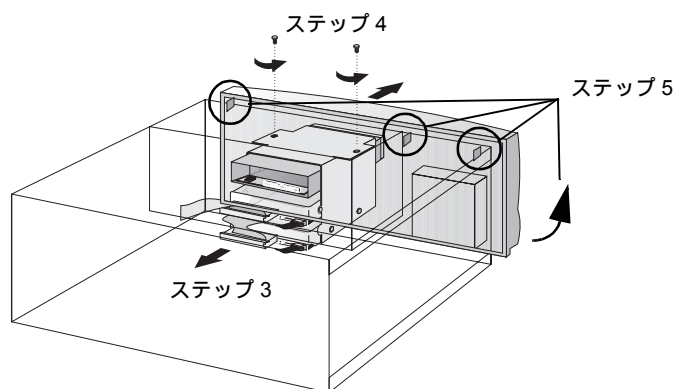
本PCは、Ultra ATA IDEコントローラを内蔵しており、最大4台のIDEドライブをサポートします。CD-ROMドライブ、テープ・ドライブ、ZipドライブなどのIDEリムーバブル・メディアは、PC前面に設置する必要があります。フロッピーディスク・ドライブの他に本PCには5.25インチのフロント・アクセス・デバイスを2台サポートできます。モデルによってはフロント・アクセス・シェルフにあらかじめCD-ROMドライブがインストールされている場合があります。

ジャンパ設定や特別なインストール方法の有無については、インストールするドライブのマニュアルを参照してください。

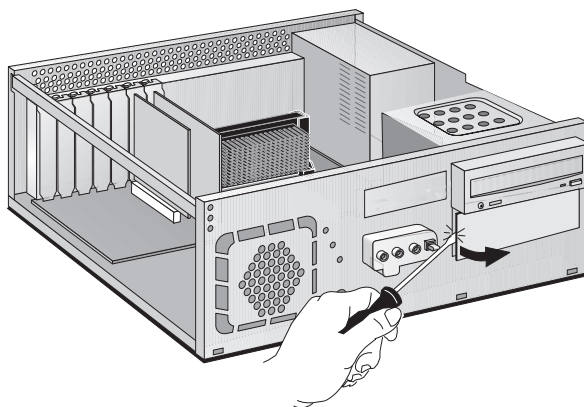
フロント・アクセス・デバイスをインストールするには

- 1 ディスプレイとPC本体の電源を切り、電源コードと通信ケーブル等を取り外します。
- 2 PC本体のカバーを取り外します。
- 3 フロッピーディスク・ドライブとハードディスク・ドライブ背面の電源ケーブルとデータ・ケーブルを外します。
- 4 フロッピーディスク/ハードディスク・ドライブ用トレイ上面の2本のネジを外します。トレイをゆっくり持ち上げてPCから取り出し、机がテーブルの上に置きます。
- 5 フロント・ベゼルのネジを外し、フロント・ベゼルをゆっくりと取り外します。

1 デスクトップ PC へのアクセサリのインストール方法 大容量記憶装置のインストール



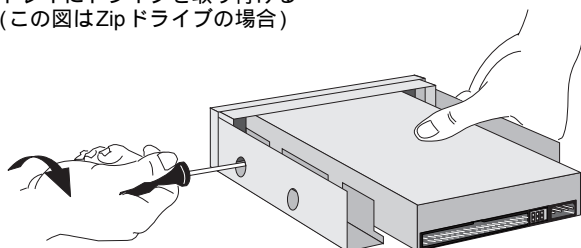
- 6 PC のシャーシから金属製のプレートを注意しながら取り外します。取り外す際には、まず、片側を持ち上げてから手前に引くようにします。指を傷つけないように十分注意してください。プレートを外す際はドライバを使うと便利です。



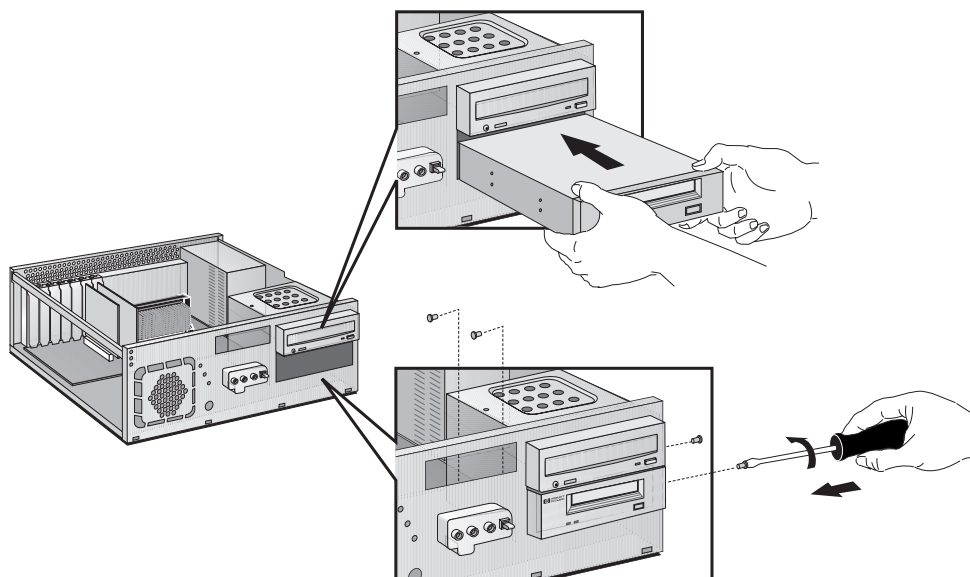
- 7 増設するドライブにトレイが附属している場合は、そのトレイにドライブを取り付けます。HP 製 Zip ドライブなど、ドライブの増設には HP 製のインストール用トレイが必要です。ただし、CD-ROM ドライブには、トレイは不要です。

1 デスクトップ PC へのアクセサリのインストール方法 大容量記憶装置のインストール

トレイにドライブを取り付ける
(この図はZipドライブの場合)



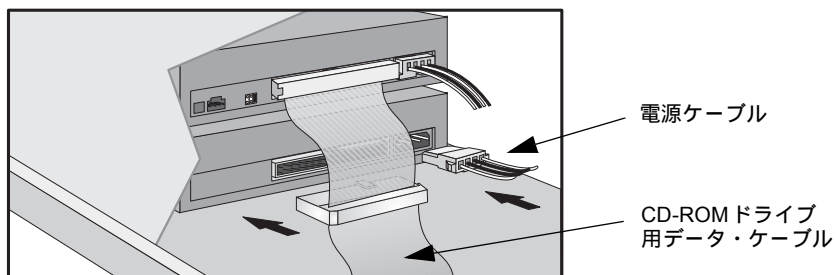
8 シェルフに増設ドライブを差込み、付属のネジで定位置に固定します。



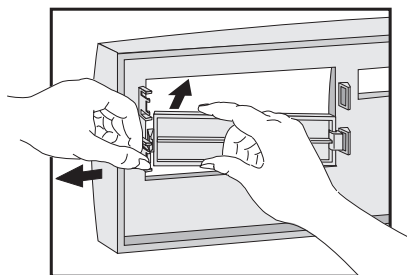
9 増設するドライブの背面に電源ケーブルとデータ・ケーブルを接続します。

1 デスクトップ PC へのアクセサリのインストール方法 大容量記憶装置のインストール

コネクタは一方方向にしか差し込めない形になっています。使用するコネクタについては、7ページの「IDEデバイスの接続」を参照してください。

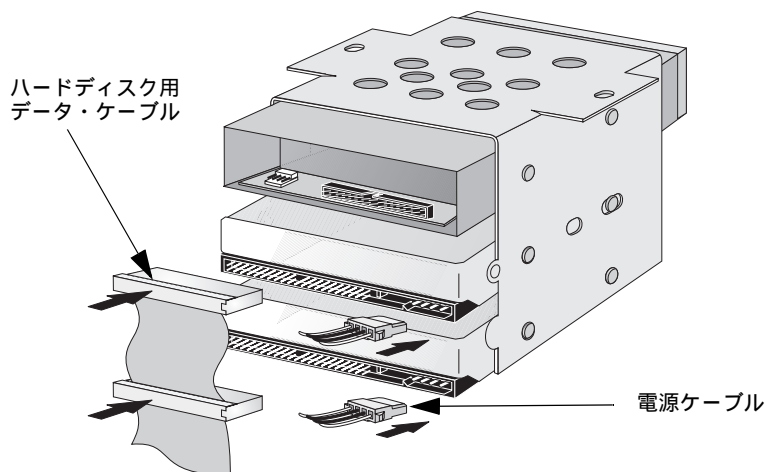


- 10 ドライブに手が届くようにするために、プラスチックのパネルをカバーから取り外します。パネルの片側のクリップを外し、反対側を軸にして回転させて外します。パネルは大切に保管しておいてください。



- 11 フロント・ベゼルを取り付けます。
- 12 フロッピーディスク/ハードディスク・ドライブ用トレイをゆっくりとPCに戻し入れ、先程外した2本のネジで固定します。フロッピーディスク・ドライブとハードディスク・ドライブの電源ケーブルおよびデータ・ケーブルを接続します。

1 デスクトップ PC へのアクセサリのインストール方法 大容量記憶装置のインストール



- 13 カバーを取り付ける前にその他のアクセサリをすべてインストールし、ケーブルや電源コードをすべて接続します。
- 14 サマリ画面で、新しい構成を確認します (サマリ画面を表示するには、起動中に Vectra のロゴが表示されたら **Esc** キーを押します)。

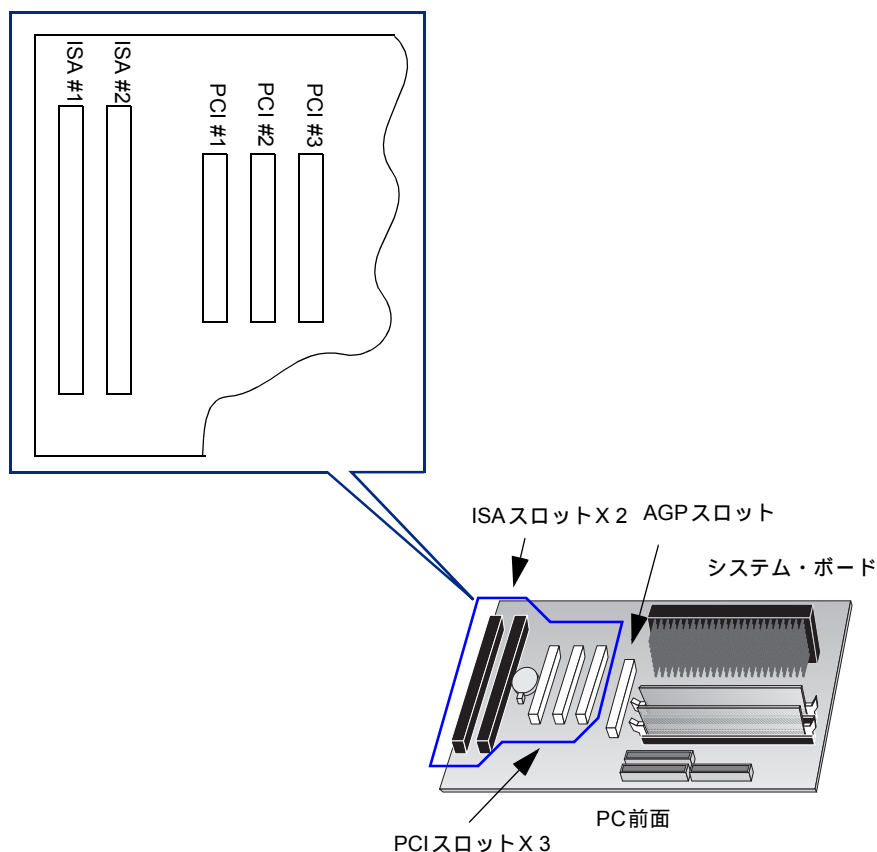
1 デスクトップ PC へのアクセサリのインストール方法

アクセサリ・ボードのインストール

注意

静電気によって、電子部品が損傷を受けることがあります。この作業中はすべての装置の電源を切り、また衣服がアクセサリに触れないようにします。静電気の影響を避けるため、アクセサリを包みから取り出すときは、PC本体の上に置いてください。また、アクセサリの取り扱いは最少限にとどめ、取り扱いには十分注意してください。

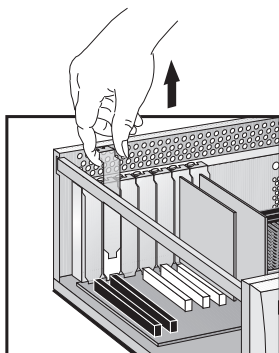
本PCには、AGP (Accelerated Graphics Port) スロット (ビデオ・カード用) が1基、ISA (Industry Standard Architecture) スロットが2基、PCI (Peripheral Component Interface) スロットが3基搭載されています。



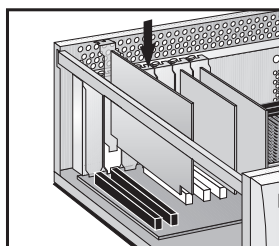
1 デスクトップPCへのアクセサリのインストール方法 アクセサリ・ボードのインストール

ボードをインストールする

- 1 コンピュータ本体から電源コードと通信ケーブル等を取り外します。
- 2 コンピュータのカバーを取り外します。
- 3 空きスロットを確認します。ボードによっては、インストール先のスロットが指定されているものがあります。詳細は、各ボードのマニュアルを参照してください。
- 4 ネジを外し、スロット・カバーを取り外します。ネジは後で必要になりますので、無くさないように気をつけてください。取り外したスロット・カバーは、大切に保管してください。



- 5 ボードの先端を持って、スロットのボード・ガイドに沿って押し込みます。必要ならば、隣接するスロットのネジをゆるめてください。

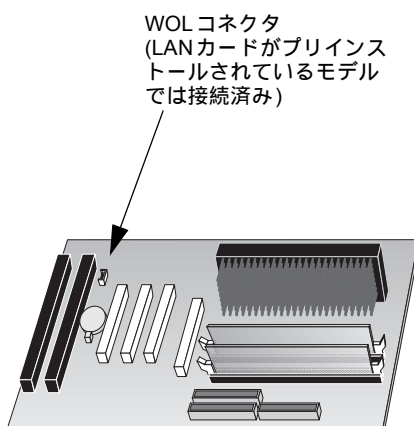


1 デスクトップ PC へのアクセサリのインストール方法

アクセサリ・ボードのインストール

- 6 ボードのコネクタをスロットのソケットに合わせて、ボードをソケット内にしっかりと差し込みます。この時、ボードが曲がらないように注意してください。ボードのコネクタがソケットに確実に差し込まれ、ボード上の他の部品と接触していないことを確認してください。
- 7 スロット・カバーのネジを取り付け、ボードを固定します。隣接するスロットのネジをゆるめていた場合は、それらも必ず締め直します。
- 8 ボードによっては、接続先が決まっている場合があります。
 - ・ ネットワーク・ケーブルはWOL (Wake On LAN) コネクタに接続
 - ・ サウンド・ケーブルはCD-ROMドライブに接続

WOL コネクタの位置は以下の図に示されています。



詳細は、アクセサリ・ボードに付属のマニュアルを参照してください。必要なケーブルは、通常アクセサリ・ボードに付属しています。

- 9 カバーを取り付ける前にその他のアクセサリをすべてインストールし、ケーブルや電源コードをすべて接続します。

1 デスクトップ PC へのアクセサリのインストール方法

アクセサリ・ボードのインストール

注記

ネットワーク・ボードをインストールして、WOLコネクタに接続する際、Wake On LANモード対応のネットワーク・ボードをご使用の場合は、SetupプログラムでWake On LANフィールドを有効に設定する必要があります (AdvancedメニューからPower Management Setupサブメニューを選択します)。

LANカード(ネットワーク・ボード)など、増設したアクセサリによっては、サービス・パック3のインストールが必要です (Windows NT 4.0のみ)。この場合、ビデオ・カード用ドライバの再インストールも必要になります。ドライバは、ハードディスクのマスタ・ドライバ用ディレクトリ(C:\SETUP\VIDEODRV)にあります。または、次のHPウェブ・サイトからダウンロードすることもできます。
<http://www.hp.com/go/vectrasupport/>

Plug and Play対応アクセサリ・ボードの設定

Plug and Playは、PCハードウェア・リソースとインストールしたアクセサリ・ボードの設定を自動で行う業界標準規格です。本PCはBIOSによってPlug and Playの設定を行います。

PCIボードはすべてPlug and Play対応ですが、ISAボードには対応していないものもあります。お手持ちのISAボードがPlug and Play対応かどうか不明の場合は、アクセサリ・ボードのマニュアルを参照してください。

アクセサリ・ボードをインストールした後にPCを起動すると、システムベース・コンポーネントによって使用されるハードウェア・リソース (IRQ、DMA、メモリ範囲、I/O アドレスなど) を、Plug and Play BIOSが自動的に検出します。

1 デスクトップ PC へのアクセサリのインストール方法

アクセサリ・ボードのインストール

Windows 95

Windows 95のようにPlug and Play対応のオペレーティング・システムは、新しくインストールされたPlug and Playアクセサリ・ボードを自動的に検出し、使用可能なデバイス・ドライバを自動インストールします。使用可能なドライバがない場合は、ドライバの入っているフロッピーディスクかCD-ROMを入れるようにプロンプトが表示されます。

Windows NT 4.0

Windows NT 4.0のようにPlug and Play非対応のオペレーティング・システムをご使用の場合、アクセサリ・ボードのインストールについては、オペレーティング・システムのマニュアルを参照してください。

Windows NT 4.0ヘルプを表示するには、[スタート] ボタンをクリックして、次に [ヘルプ] をクリックします。Windows NT 4.0のヘルプの目次やインデックスには、デバイスのインストールに関する情報が収録されています。Windows NT 4.0ではヘルプを参考にしながらモデムやサウンド・ボードなどのデバイスのインストールを進めることができます。

Plug and Play非対応ISAアクセサリ・ボードの設定

Plug and Play に非対応の ISA アクセサリ・ボードをインストールした場合は、それを使用するための設定を行わなければなりません。本PCで利用可能なIRQとI/Oアドレスについてのガイドラインは、88 ページを参照してください。Windows 95などのオペレーティング・システムでは、現在使われているIRQとI/Oアドレスを画面に表示することができます。詳細は、オペレーティング・システムのマニュアルを参照してください。

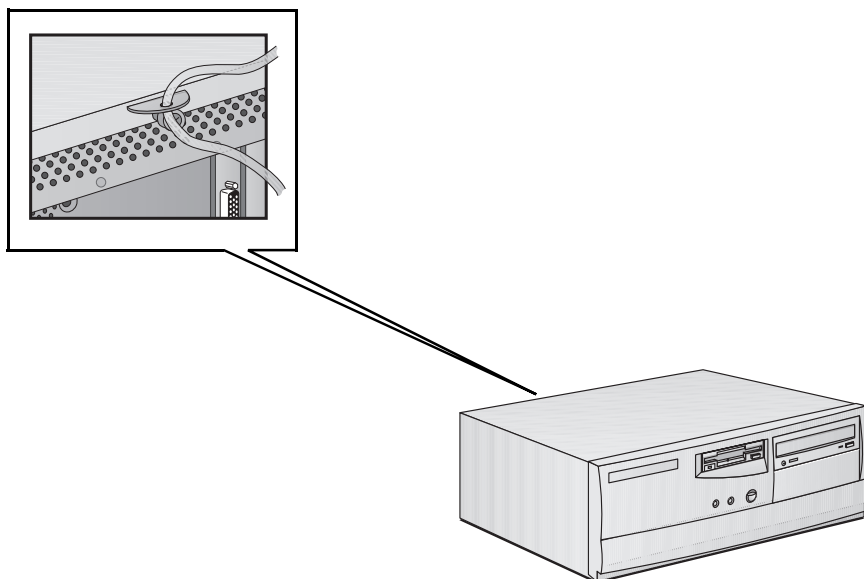
アクセサリ・ボードのスロット番号については、18ページを参照してください。

Plug and Play非対応アクセサリ・ボードを設定する際の、オペレーティング・システムの機能や制限などについては、オペレーティング・システムのマニュアルを参照してください。

1 デスクトップ PC へのアクセサリのインストール方法 セキュリティ・ケーブルのインストール

セキュリティ・ケーブルのインストール

本 PC は、セキュリティ・ケーブルでデスクまたは他の固定物に固定できます。
PCの背面にはケーブルを固定するためのブラケットがあります。



注記

セキュリティ・ケーブルの購入方法については、メーカーにお問い合わせください。

1 デスクトップ PC へのアクセサリのインストール方法

バッテリーの交換

警告

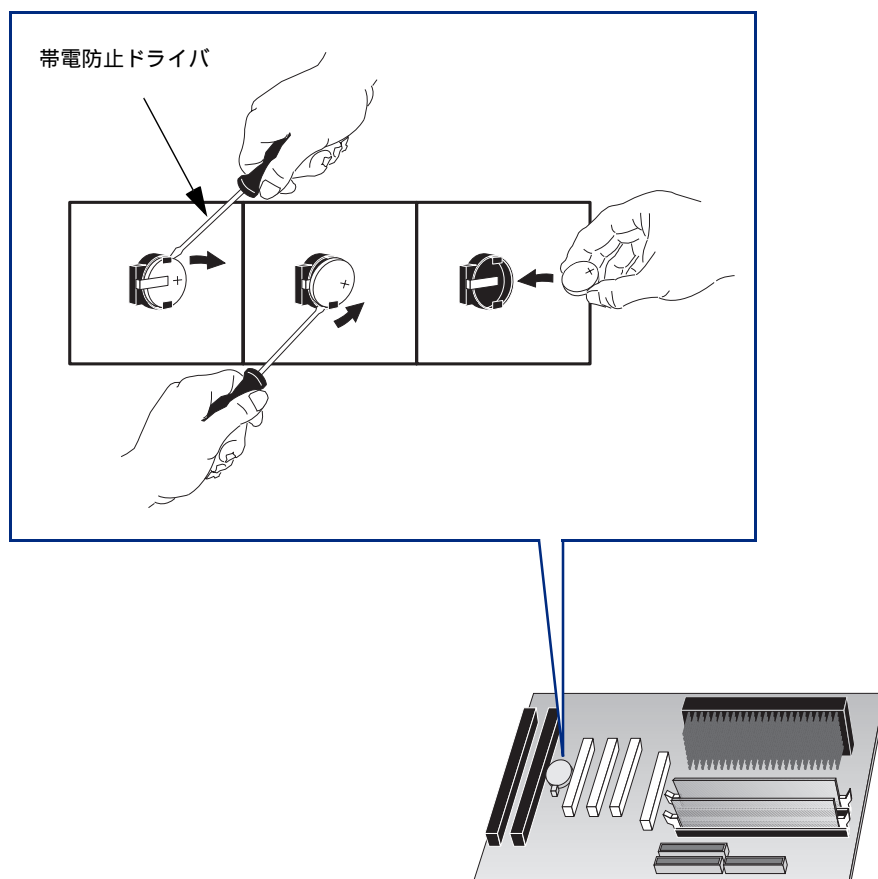
バッテリーは取り付けが正しくないと破裂する危険性があります。また、安全のため、使用済みのバッテリーを充電、分解、焼却しないでください。バッテリーを交換する際は、メーカー指定または同一タイプのバッテリーをご使用ください。本 PC に使用するバッテリーは、重金属を含まないリチウム電池です。環境保護のためにもバッテリーを一般ごみとして廃棄しないでください。

PC の設定内容が消えてしまうようなことが度重なって起きる場合は、そろそろ内蔵バッテリーを交換する時期です。バッテリーは CR2032 コイン型マンガン/リチウム・バッテリーをお使いください。このバッテリーはたいていのコンピュータ販売店で扱っています。

バッテリーを交換するには

- 1 コンピュータ本体から電源コードと通信ケーブル等を取り外します。
- 2 コンピュータのカバーを取り外します。
- 3 クリップの下から古いバッテリーをずらして抜き取ります。
- 4 バッテリー・ホルダに新しいバッテリーを入れます。向きが正しいか、しっかりとクリップが留まっているかどうか確かめてください。

1 デスクトップ PC へのアクセサリのインストール方法 バッテリーの交換



- 5 ケーブルおよび電源コードをすべて接続し、カバーを戻します。
- 6 Setup プログラムを立ち上げ、PCを設定し直します。

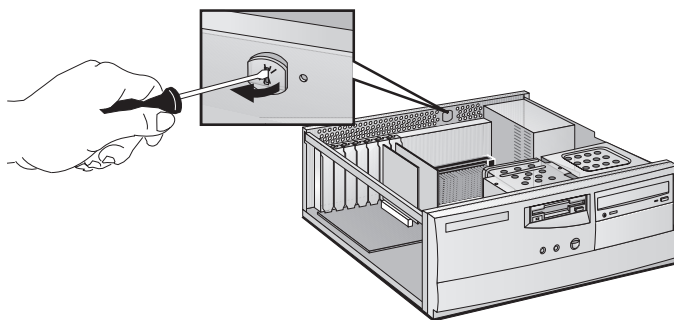
1 デスクトップPCへのアクセサリのインストール方法 キー・ロックのインストール

キー・ロックのインストール

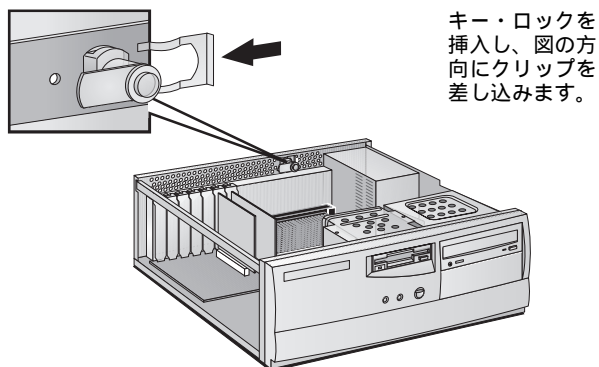
PCによってはキー・ロックをインストールできる場合があります。

キーロックをインストールするには

- 1 コンピュータ本体から電源コードと通信ケーブル等を取り外します。
- 2 コンピュータのカバーを取り外します。
- 3 ドライバでPCのシャーシに付いている丸い小さな金属板を取り外します。



- 4 キー・ロックを差込み、附属のクリップで固定します。



- 5 ケーブルおよび電源コードをすべて接続し、カバーを戻します。

2

ミニタワー PC へのアクセサリのインストール方法

本章ではメモリ、アクセサリ・ボード、ハードディスクなどをPCにインストールする方法について詳しく説明します。

2 ミニタワー PC へのアクセサリのインストール方法 インストールできるアクセサリ

インストールできるアクセサリ

メイン・メモリ・モジュール (SDRAM)

16 MBキット SDRAM
32 MBキット SDRAM
64 MBキット SDRAM
128 MBキット SDRAM

フロントアクセス・ デバイス・シェルフ

Zip ドライブ
テープ・ドライブ
CD-ROM ドライブ (一部
のモデルにインストール
済み)

アクセサリ・ボード 用スロット

ISA X 2、PCI X 3、
AGP X 1
(一部のスロットに
ボードをインストー
ル済み)

内部デバイスシェルフ (フロッピーディスク・ド ライブの下)

ハードディスク・ドライ
ブ2基設置用(ハードディ
スク・ドライブを1基設
置済み)

LAN カードなど、増設したアクセサリによっては、サービス・パック 3 を再インストールする必要があります (Windows NT 4.0 のみ)。この場合、ビデオ・カード用ドライバの再インストールも必要になります。ハードディスクのマスタ・ドライブのディレクトリ (C:\SETUP\VIDEODRV) に必要なドライバが用意されています。ドライバは、次の HP ウェブ・サイトからダウンロードすることもできます。

<http://www.hp.com/go/vectrasupport/>

2 ミニタワー PC へのアクセサリのインストール方法

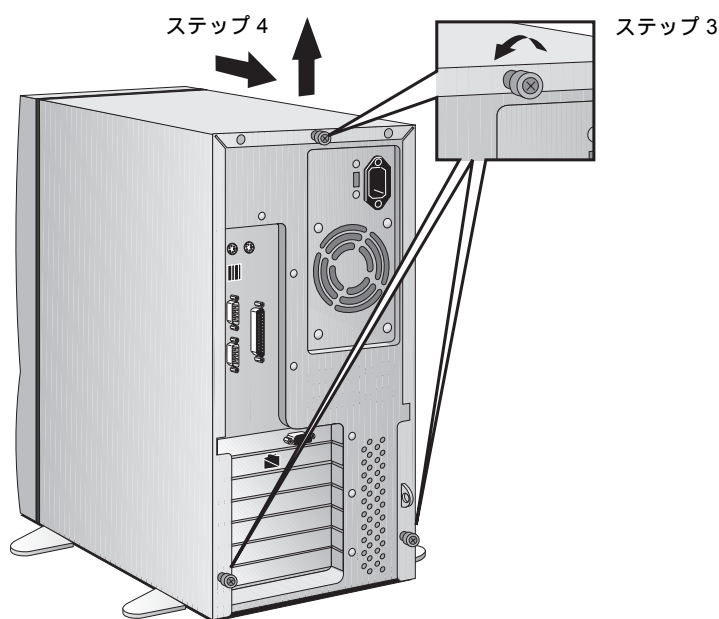
カバーの取り外しと取り付け

警告

安全のため、PCのカバーを取り外す前に、必ずコンセントから電源コードを外し、通信ネットワークへの接続を外してください。また、必ずPC本体にカバーを取り付けてからPCのスイッチを入れてください。

カバーの取り外し

- 1 ディスプレイとPC本体の電源をオフにします。
- 2 電源コードと通信ケーブル等をすべて取り外します。
- 3 PCの背面にある3本のネジを取り外します。はじめてカバーを外す場合は、ネジまわしでネジをゆるめる必要があります。
- 4 PCの背面に立ち、カバーを手前に15mmほど引き出し、PC本体から取り外します。

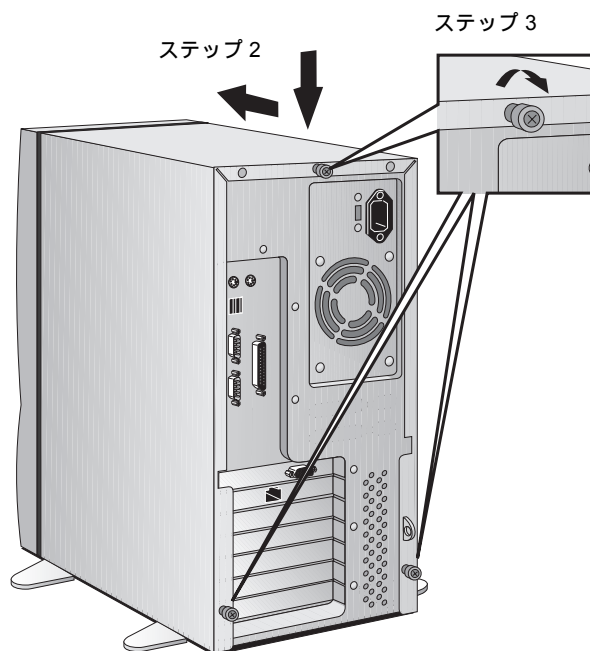


2 ミニタワー PC へのアクセサリのインストール方法

カバーの取り外しと取り付け

アクセサリをインストールした後のカバーの取り付け

- 1 すべてのアクセサリのインストールが完了したことを確認します。内部ケーブルの接続や配線状態が適切かどうか確認します。
- 2 カバーをPC本体にかぶせ、定位置までスライドさせます。このとき、カバー下部にある2つのガイドが、本体底面の2本のレール上をスライドし、カバー前面にあるガイドが、本体前面のレール上をスライドすることを確認します。
- 3 カバー背面の3本のネジをしめます。



- 4 すべてのケーブルと電源コードを接続します。

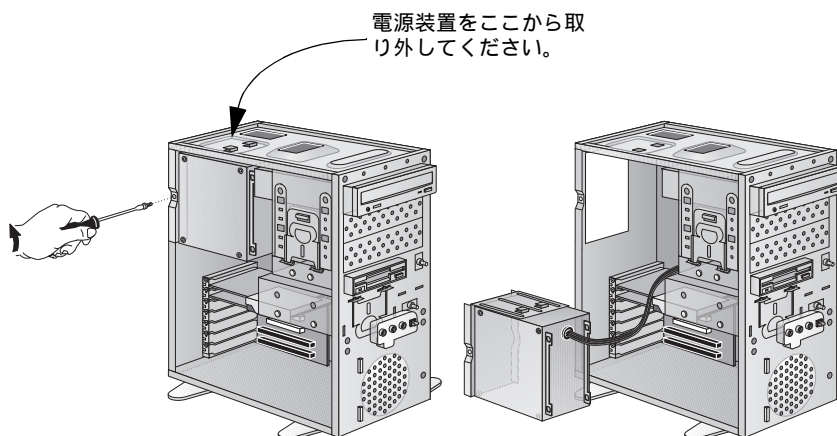
2 ミニタワー PC へのアクセサリのインストール方法

電源装置の取り外しと取り付け

電源装置の取り外しと取り付け

システム・ボードの作業をしやすいように、場合によっては電源装置を取り外す必要があります。取り外し方は、以下の通りです。

- 1 PC本体から電源コード、通信ネットワークへの接続等を取り外します。
- 2 PC本体のカバーを取り外します。
- 3 片方の手で電源装置を支えながら、押さえネジを取り外し、装置をPC本体の上部から外します。



- 4 電源装置をPCの横に静かに置きます。ケーブルを無理に引張ったり、はさまないように注意してください。
- 5 必要なアクセサリをインストールします。
- 6 電源装置を元の場所に戻して、カバーを取り付けます。すべてのケーブルと電源コードを接続します。

2 ミニタワー PC へのアクセサリのインストール方法

メモリのインストール

メモリのインストール

注意

静電気によって、電子部品が損傷を受けることがあります。この作業中はすべての装置の電源を切り、また衣服がアクセサリに触れないようにします。静電気の影響を避けるため、アクセサリを包みから取り出すときは、PC本体の上に置いてください。また、アクセサリの取り扱いは最少限にとどめ、取り扱いには十分注意してください。アクセサリを持つ時は端を持ち、コンポーネントやコネクタに触れないようにします。

メイン・メモリのインストール

本PCにはすでにメイン・メモリがインストールされています。アプリケーションを実行するためにメモリを増設する必要がある場合は、合計256 MB(128 MB モジュール×2)までインストールできます。

メイン・メモリには、16 MB、32 MB、64 MB、または128 MB モジュールを使用できます。メモリ「バンク」(スロット)は2つあり、それぞれのバンクはSDRAMメモリ・モジュールをサポートしています。

必要に応じ、異なるサイズのモジュールを組み合わせて使用できます。例えば、あるスロットに32 MBモジュールを装着し、別のスロットに64 MBモジュールを装着することが可能です。

注記

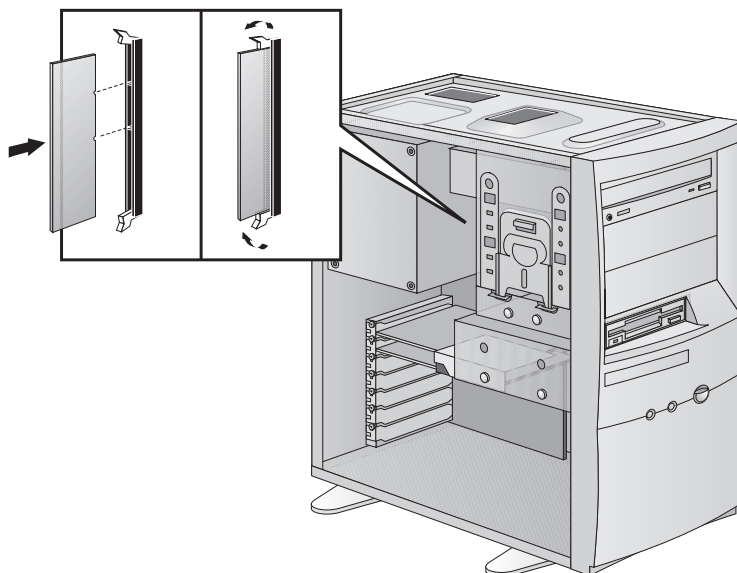
ECC(Error Correcting Code)メモリ・モジュールをインストールすることもできますが、本PCではエラーの修正は行われません。ECCメモリと非ECCメモリを組み合わせて使用することもできます。

2 ミニタワー PC へのアクセサリのインストール方法

メモリのインストール

メイン・メモリ・モジュールをインストールするには

- 1 PC本体から電源コード、通信ネットワークへの接続等を取り外します。
- 2 PC本体のカバーを取り外します。
- 3 必要に応じて電源装置を取り外します。
- 4 メモリ・モジュールを、システム・ボードに対して直角にスロットのソケットに差し込みます (モジュールは、ソケットに対し、一方向にしか差し込めない形になっています)。
- 5 メモリ・モジュールをソケットに完全に押し込み、固定用クリップをはめて固定します。



メイン・メモリ・モジュールを取り外すときは、固定用クリップを外してから、モジュールを手前に引いてソケットから引き抜きます。

- 6 その他のアクセサリをすべてインストールしたら、電源装置を取り出した場合は元に戻し、カバーを取り付けます。すべてのケーブルと電源コードを接続します。
- 7 サマリ画面で、新しい構成を確認します (サマリ画面を表示するには、起動中に Vectra のロゴが表示されたら **Esc** キーを押します)。

2 ミニタワー PC へのアクセサリのインストール方法

大容量記憶装置のインストール

大容量記憶装置のインストール

注記

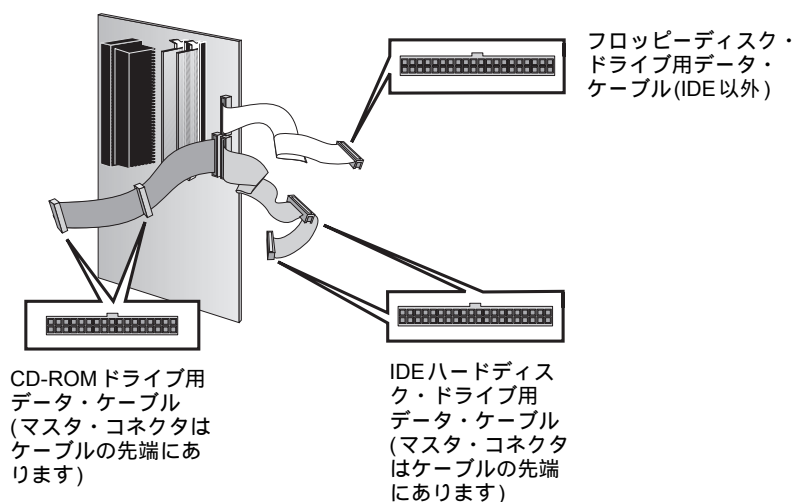
IDE 以外の大容量記憶装置や CD-ROM ドライブもインストールできますが、その場合にはアクセサリ・ボードとドライバ・ソフトウェアが必要となります(通常は、ドライブに付属しています)。詳細は、各メーカーにお問い合わせください。

記憶装置の増設が必要になった場合は、記憶装置を新たに増設することができます。本 PC にはハードディスク・ドライブが最大 2 台、(現在内蔵されているフロッピーディスク・ドライブ以外に) フロントアクセス・デバイスが最大 3 台インストールすることができます。モデルによっては、フロントアクセス・ドライブ用のシェルフに CD-ROM ドライブがあらかじめインストールされている場合があります。

IDE デバイスの接続

IDE ZIP ドライブ、ハードディスク・ドライブ、CD-ROM ドライブ、テープ・ドライブなどを増設する場合、電源ケーブルとデータ・ケーブルに接続する必要があります。データ・ケーブルの種類と形状は次の図のとおりです。

注: プリインストールの CD-ROM ドライブがない場合、CD-ROM ケーブルは付いていません。



2 ミニタワー PC へのアクセサリのインストール方法

大容量記憶装置のインストール

使用するデータ・コネクタ

PC には、モデルに応じて、2本または3本のデータ・ケーブルがあります。CD-ROM ドライブがある場合は3本、CD-ROM ドライブがない場合は2本になります。ケーブルには次の3種類のケーブルがあります。

- Enhanced Ultra ATA IDE (Integrated Drive Electronics) ハードディスク・ドライブ用ケーブル。最大2基のIDEハードディスクをサポートします。このうち1つのコネクタはすでに使用されています。2基めのIDEハードディスク・ドライブをインストールする場合は、このケーブルを使用してください(ジャンパ設定や特別なインストール方法の有無については、インストールする記憶装置のマニュアルを参照してください)。
- 2本めのIDEドライブ用ケーブル。2基のIDEデバイスをサポートします。CD-ROM ドライブがある場合は、このケーブルが使用されています。CD-ROM ドライブがない場合は、PC にこのケーブルは付いていません。2基目のフロントアクセス・デバイスをインストールする場合は、このケーブルを使用してください(ジャンパ設定や特別なインストール方法の有無については、インストールする記憶装置のマニュアルを参照してください)。
- フロッピーディスク・ドライブ用ケーブル。3.5インチ・フロッピーディスク・ドライブをサポートしています(接続済み)。

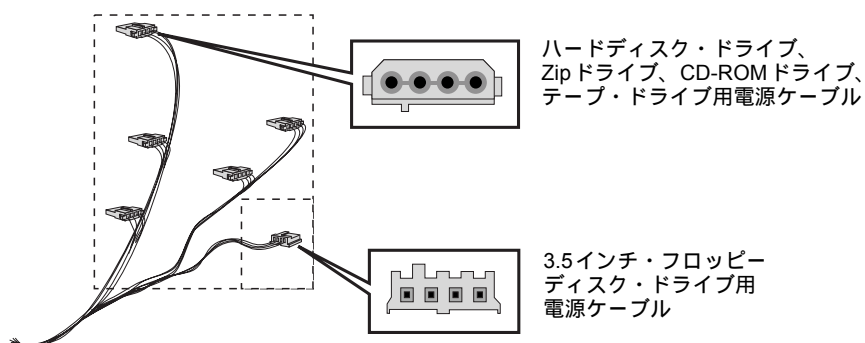
次の表は、増設したデバイスに使用するデータ・ケーブルとコネクタの例です。

複数のIDEデバイスの接続例		
構成	接続に使用するデータ・ケーブルとコネクタ	
ハードディスク x1	1. ブート可能なハードディスク	マスタ・コネクタ、HDD ケーブル
ハードディスク x2	1. ブート可能なハードディスク 2. 2 基目のハードディスク	マスタ・コネクタ、HDD ケーブル スレーブ・コネクタ、HDD ケーブル
ハードディスク x1 CD-ROM ドライブ x1	1. ブート可能なハードディスク 2. CD-ROM ドライブ	マスタ・コネクタ、HDD ケーブル マスタ・コネクタ、CD-ROM ケーブル
ハードディスク x2 CD-ROM ドライブ x1	1. ブート可能なハードディスク 2. 2 基目のハードディスク 3. CD-ROM ドライブ	マスタ・コネクタ、HDD ケーブル スレーブ・コネクタ、HDD ケーブル マスタ・コネクタ、CD-ROM ケーブル
ハードディスク x1 CD-ROM ドライブ x1 Zip ドライブ x1	1. ブート可能なハードディスク 2. CD-ROM ドライブ 3. Zip ドライブ	マスタ・コネクタ、HDD ケーブル マスタ・コネクタ、CD-ROM ケーブル スレーブ・コネクタ、CD-ROM ケーブル
ハードディスク x2 CD-ROM ドライブ x1 Zip ドライブ x1	1. ブート可能なハードディスク 2. 2 基目のハードディスク 3. CD-ROM ドライブ 4. Zip ドライブ	マスタ・コネクタ、HDD ケーブル スレーブ・コネクタ、HDD ケーブル マスタ・コネクタ、CD-ROM ケーブル スレーブ・コネクタ、CD-ROM ケーブル

2 ミニタワー PC へのアクセサリのインストール方法

大容量記憶装置のインストール

使用する電源コネクタ 電源コネクタには、下図に示すとおり、形状の異なる2種類のコネクタがあります。



電源コネクタのいくつかは、既にデバイスに接続されています。上記以外のコネクタが必要なデバイスをインストールする場合は、それに適したコネクタ変換器が必要になります。

起動ドライブの選択

起動（ブート）用ハードディスクを選択するには、Setup プログラムを起動し、**Advanced** メニューの **Advanced CMOS Setup** サブメニューを表示します。次に、1 番目から 4 番目までの起動デバイスをそれぞれ選択します。ハードディスク・ドライブを IDE マスタ・コネクタに接続しただけでは、PC がそのハードディスク・ドライブから起動するとは限りません。PC は Setup プログラムで設定したブート順で起動します。詳細は 84 ページを参照してください。

ジャンパの設定

ドライブのインストール・ガイドを参照し、ジャンパの設定が必要かどうか確認してください。ドライブのジャンパは“cable select” もしくは “CS” の位置に設定されている必要があります。

インストール後の IDE デバイスの設定

IDE ドライブをインストール後、サマリ画面を表示して PC が新しい設定を正しく認識しているか確認する必要があります。（起動時に Vectra のロゴが表示されている間に、**[Esc]** キーを押します）。設定が正しくない場合、Setup プログラムを実行してデバイスを設定します（起動時に Vectra のロゴが表示されている間に、**[F2]** キーを押します）。

2 ミニタワー PC へのアクセサリのインストール方法

大容量記憶装置のインストール

IDE ドライブは、デフォルトで Setup プログラムによって自動的に検出されます(自動検出をオンにするには、Main メニューの IDE チャンネル設定を Auto に設定する必要があります)。ただし、新規にインストールした CD-ROM には適切なデバイス・ドライバが必要です。詳しくは、オペレーティング・システムに付属のマニュアルを参照してください。

3.5 インチ・ハードディスク・ドライブを内部シェルフにインストールする

注意

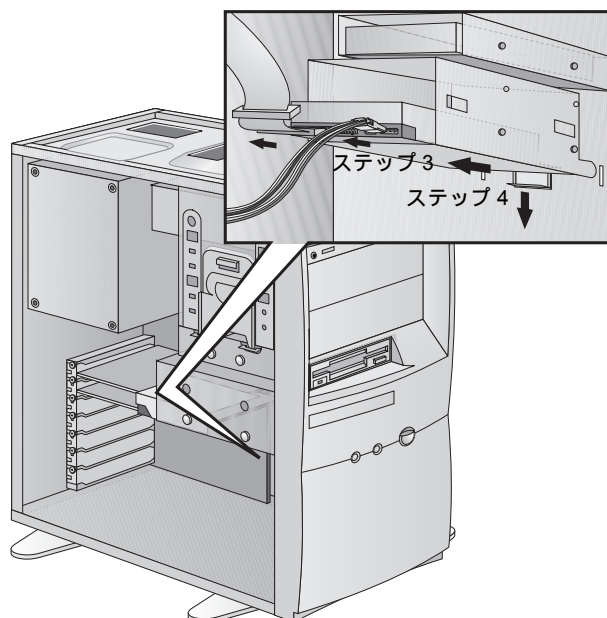
ハードディスク・ドライブの取り扱いには十分に注意してください。ハードディスクの内部コンポーネントに損傷を与えるような衝撃や乱暴な扱いは避けてください。

ハードディスク・ドライブをインストールする前に、必ず、ファイルのバックアップをとっておいてください。バックアップ方法については、ご使用のオペレーティング・システムのマニュアルを参照してください。

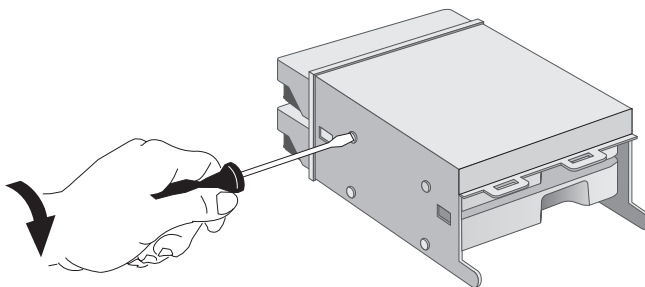
ジャンパ設定や特別なインストール方法の有無については、インストールするハードディスク・ドライブの取扱説明書を参照してください。増設するドライブにトレイが附属している場合は、インストールする前に、必ず取り外してください。

- 1 ディスプレイと PC 本体の電源を切り、電源コードと通信ケーブル等を取り外します。
- 2 コンピュータのカバーを取り外します。
- 3 フロッピーディスクの背面および現在設置されているハードディスク・ドライブからデータ・ケーブルと電源ケーブルを取り外します。
- 4 クリップを押して、ハードディスク・ドライブ・トレイを PC から引き出します。取り出したハードディスク・トレイは机かテーブルの上に置きます。

2 ミニタワー PC へのアクセサリのインストール方法 大容量記憶装置のインストール



- 5 新しいハードディスクをドライブ・トレイの空きシェルフに入れ、付属のネジでトレイに固定します。



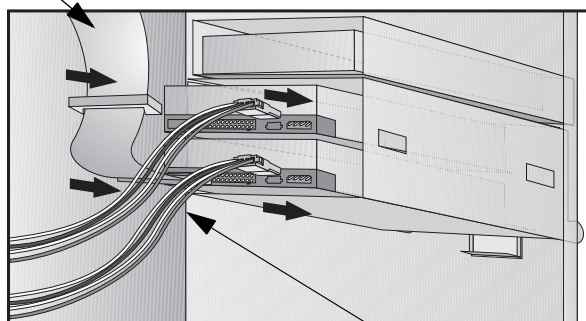
- 6 ドライブ・トレイをゆっくりとPCに戻し入れ、取付金具で定位置に固定します。

2 ミニタワー PC へのアクセサリのインストール方法

大容量記憶装置のインストール

- 7 電源ケーブルとデータ・ケーブルを新しいハードディスクの背面に接続します。この時、既存のハードディスクとフロッピー・ディスク・ドライブのケーブルも忘れずに接続します。コネクタは一方方向にしか差し込めない形になっています。使用するコネクタについては、34ページの「IDE デバイスの接続」を参照してください。

ハードディスク・ドライブ用データケーブル



電源ケーブル

- 8 データ・ケーブルや電源ケーブルが他のデバイスの邪魔になったり、PCのカバーに挟まれないよう適切に配線されていることを確かめます。
- 9 カバーを取り付ける前にその他のアクセサリをすべてインストールし、ケーブルや電源コードをすべて接続します。
- 10 サマリ画面で、新しい構成を確認します(サマリ画面を表示するには、起動中に Vectra のロゴが表示されたら **Esc** キーを押します)。

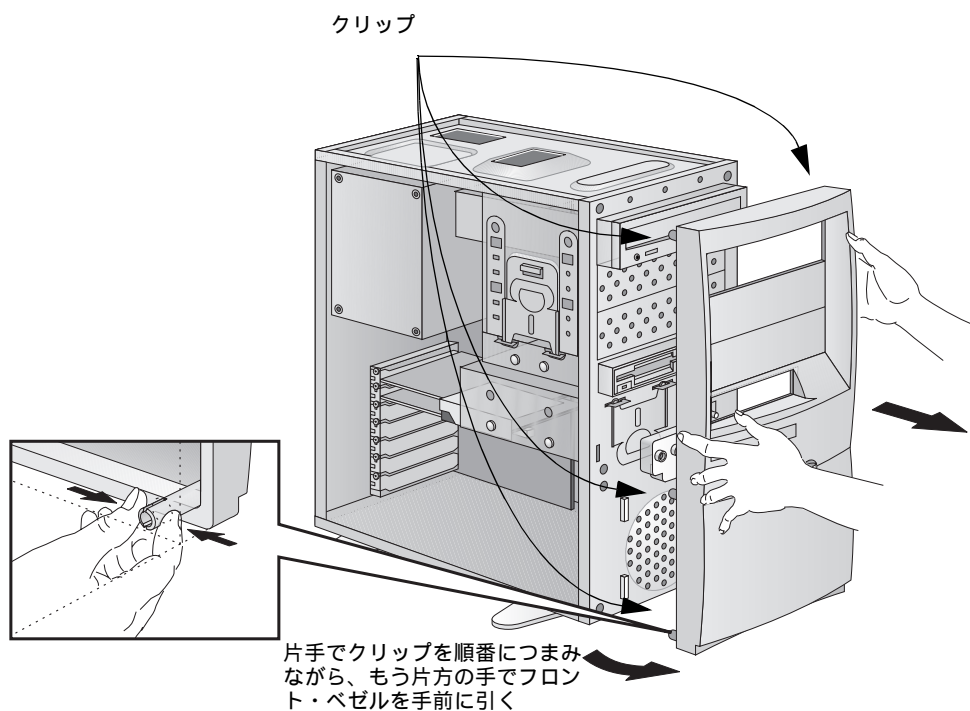
2 ミニタワー PC へのアクセサリのインストール方法 大容量記憶装置のインストール

警告

Zip ドライブ、CD-ROM ドライブ、テープ・ドライブのインストール

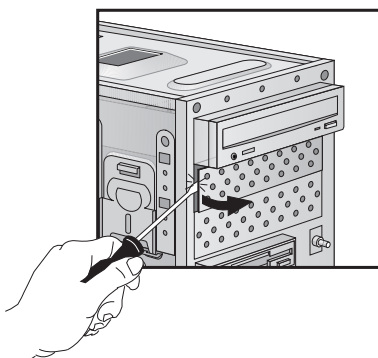
感電の恐れがあり、また目に損傷を受ける可能性があるため、CD-ROM ドライブのカバーは取り外さないでください。修理が必要な場合は、専門の修理担当者に依頼してください。

- 1 ディスプレイと PC 本体の電源を切り、電源コードと通信ケーブル等を取り外します。
- 2 PC 本体のカバーを取り外します。
- 3 フロント・ベゼルを取り外します。まず、クリップを親指と人差し指で挟んで両側から押します。PC の前方に立ち、フロント・ベゼルをシャーシから注意しながら取り外します。



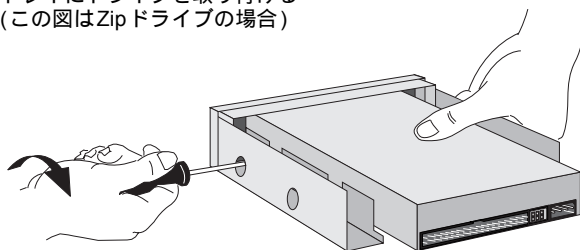
2 ミニタワー PC へのアクセサリのインストール方法 大容量記憶装置のインストール

- 4 PC のシャーシから金属製のプレートを注意しながら取り外します。取り外す際には、まず、片側を持ち上げてから手前に引くようにします。この作業を行う時には指を傷つけないように十分注意してください。プレートを外す際はドライバを使うと便利です。



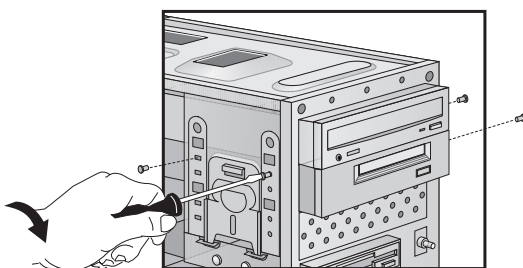
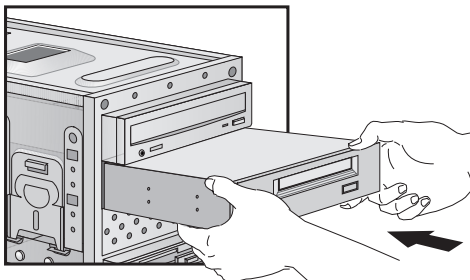
- 5 増設するドライブにトレイが附属している場合は、そのトレイにドライブを取り付けます。HP 製 Zip ドライブなど、ドライブの増設には HP 製のインストール用トレイが必要です。ただし、CD-ROM ドライブには、トレイは不要です。

トレイにドライブを取り付ける
(この図は Zip ドライブの場合)

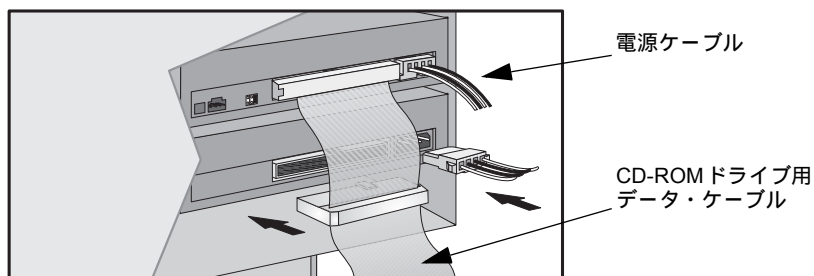


- 6 シェルフに増設ドライブを完全に押し込み、附属のネジで定位置に固定します。

2 ミニタワー PC へのアクセサリのインストール方法 大容量記憶装置のインストール

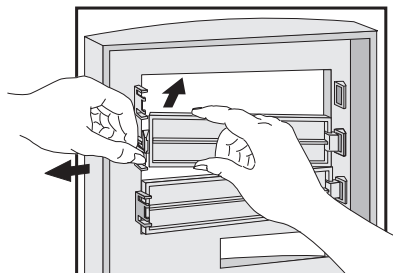


- 7 増設するドライブの背面に電源ケーブルとデータ・ケーブルを接続します。
(コネクタは一方方向にしか差し込めない形になっています)。使用するコネク
タについては、34ページの「IDEデバイスの接続」を参照してください。



- 8 ドライブに手が届くようにするために、プラスチックのパネルをカバーから
取り外します。パネルの片側のクリップを外し、反対側を軸にして回転させ
て外します。パネルは大切に保管しておいてください。

2 ミニタワー PC へのアクセサリのインストール方法 大容量記憶装置のインストール



- 9 カバーを取り付ける前に、その他のアクセサリをすべてインストールし、ケーブルや電源コードをすべて接続します。
- 10 サマリ画面で、新しい構成を確認します (サマリ画面を表示するには、起動中に Vectra のロゴが表示されたら Esc キーを押します)。

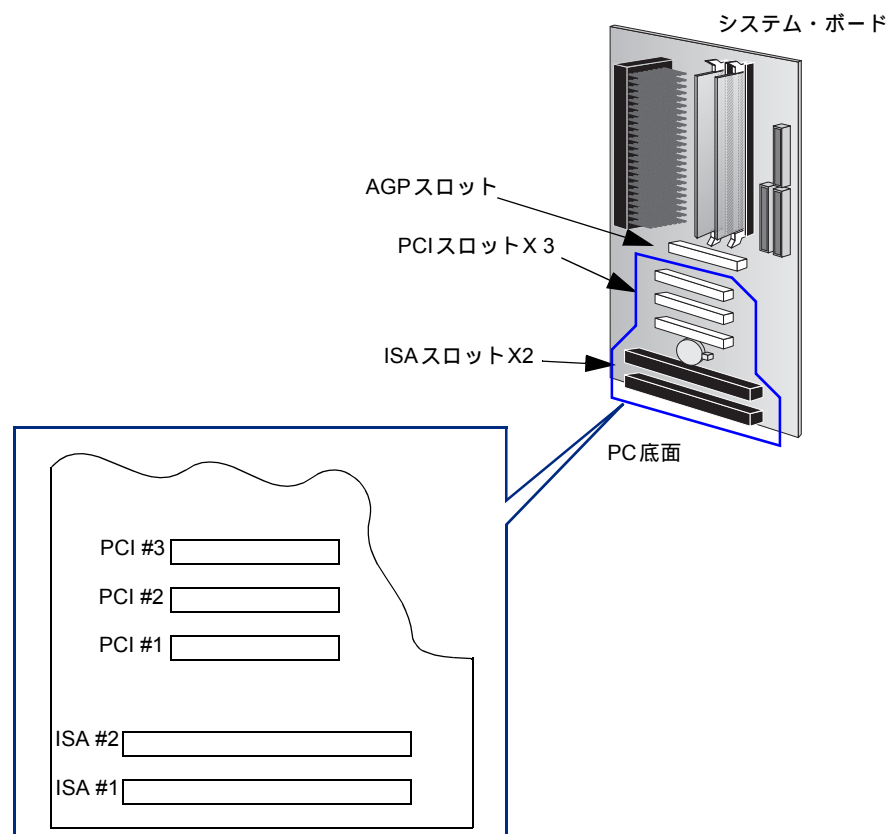
2 ミニタワー PC へのアクセサリのインストール方法

アクセサリ・ボードのインストール

注意

静電気によって、電子部品が損傷を受けることがあります。この作業中はすべての装置の電源を切り、また衣服がアクセサリに触れないようにします。静電気の影響を避けるため、アクセサリを包みから取り出すときは、PC本体の上に置いてください。また、アクセサリの取り扱いは最少限にとどめ、取り扱いには十分注意してください。

本PCには、AGP (Accelerated Graphics Port) スロット (ビデオ・カード用) が1基、ISA (Industry Standard Architecture) スロットが2基、PCI (Peripheral Component Interface) スロットが3基搭載されています。

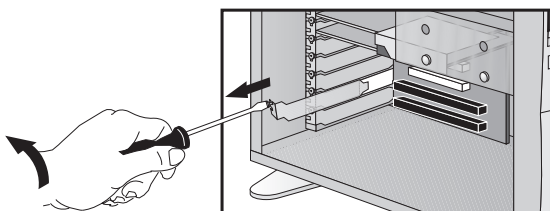


2 ミニタワー PC へのアクセサリのインストール方法

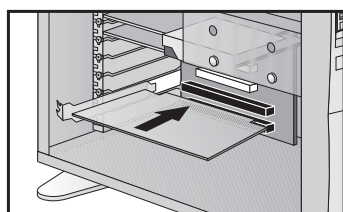
アクセサリ・ボードのインストール

ボードをインストールする

- 1 コンピュータ本体から電源コードと通信ケーブル等を取り外します。
- 2 コンピュータのカバーを取り外します。
- 3 空きスロットを確認します。ボードによっては、インストール先のスロットが指定されているものがあります。詳細は、各ボードのマニュアルを参照してください。
- 4 ネジを外し、スロット・カバーを取り外します。ネジは後で必要になりますので、無くさないように気をつけてください。取り外したスロット・カバーは、大切に保管してください。



- 5 ボードの先端を持って、スロットのボード・ガイドに沿って押し込みます。必要ならば、隣接するスロットのネジをゆるめてください。



- 6 ボードのコネクタをスロットのソケットに合わせて、ボードをソケット内にしっかりと差し込みます。この時、ボードが曲がらないように注意してください。ボードのコネクタがソケットに確実に差し込まれ、ボード上の他の部品と接触していないことを確認してください。
- 7 スロット・カバーのネジを取り付け、ボードを固定します。隣接するスロットのネジをゆるめていた場合は、それらも必ず締め直します。

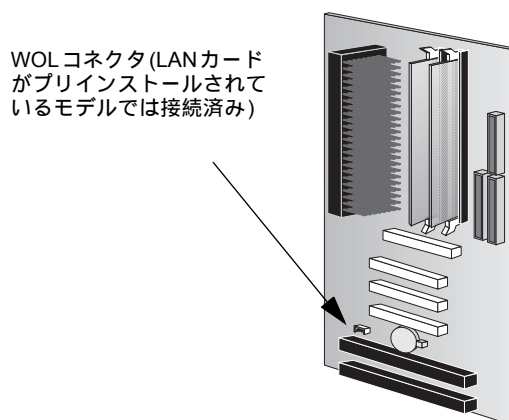
2 ミニタワー PC へのアクセサリのインストール方法

アクセサリ・ボードのインストール

8 ボードによっては、接続先が決まっている場合があります。

- ネットワーク・ケーブルはWOL (Wake On LAN) コネクタに接続
- サウンド・ケーブルはCD-ROMドライブに接続

WOLコネクタの位置は下図の通りです。



詳細は、アクセサリ・ボードに付属のマニュアルを参照してください。必要なケーブルは、通常アクセサリ・ボードに付属しています。

9 カバーを取り付ける前にその他のアクセサリをすべてインストールし、ケーブルや電源コードをすべて接続します。

注記

ネットワーク・ボードをインストールして、WOLコネクタに接続する際、Wake On LAN モード対応のネットワーク・ボードをご使用の場合は、Setup プログラムで **Wake On LAN** フィールドを有効に設定する必要があります (**Advanced** メニューから **Power Management Setup** サブメニューを選択します)。

LANカード(ネットワーク・ボード)など、増設したアクセサリによっては、サービス・パック3のインストールが必要です(Windows NT 4.0のみ)。この場合、ビデオ・カード用ドライバの再インストールも必要になります。ドライバは、ハードディスクのマスタ・ドライバ用ディレクトリ (C:\SETUP\VIDEODRV) にあります。または、次のHPウェブ・サイトからダウンロードすることもできます。
<http://www.hp.com/go/vectrasupport/>

2 ミニタワー PC へのアクセサリのインストール方法

アクセサリ・ボードのインストール

Plug and Play対応アクセサリ・ボードの設定

Plug and Playは、PCのハードウェア・リソースとインストールしたアクセサリ・ボードの設定を自動で行う業界標準規格です。本PCはBIOSによってPlug and Playの設定を行います。

PCIボードはすべてPlug and Play対応ですが、ISAボードには対応していないものもあります。お手持ちのISAボードがPlug and Play対応かどうか不明の場合は、アクセサリ・ボードのマニュアルを参照してください。

アクセサリ・ボードをインストールした後にPCを起動すると、システムベース・コンポーネントによって使用されるハードウェア・リソース (IRQ、DMA、メモリ範囲、I/Oアドレスなど) を、Plug and Play BIOSが自動的に検出します。

Windows 95

Windows 95のようにPlug and Play対応のオペレーティング・システムは、新しくインストールされたPlug and Playアクセサリ・ボードを自動的に検出し、使用可能なデバイス・ドライバを自動インストールします。使用可能なドライバがない場合は、ドライバの入っているフロッピーディスクかCD-ROMを入れるようにプロンプトが表示されます。

Windows NT 4.0

Windows NT 4.0のようにPlug and Play非対応のオペレーティング・システムをご使用の場合、アクセサリ・ボードのインストールについては、オペレーティング・システムのマニュアルを参照してください。

Windows NT 4.0ヘルプを表示するには、[スタート] ボタンをクリックして、次に[ヘルプ] をクリックします。Windows NT 4.0のヘルプの目次やインデックスには、デバイスのインストールに関する情報が収録されています。Windows NT 4.0ではヘルプを参考にしながらモデムやサウンド・ボードなどのデバイスのインストールを進めることができます。

Plug and Play非対応ISAアクセサリ・ボードの設定

Plug and Playに非対応のISAアクセサリ・ボードをインストールした場合は、それを使用するための設定を行わなければなりません。本PCで利用可能なIRQとI/Oアドレスについてのガイドラインは、88ページを参照してください。Windows 95などのオペレーティング・システムでは、現在使われているIRQとI/Oアドレスを画面に表示することができます。詳細は、オペレーティング・システムのマニュアルを参照してください。

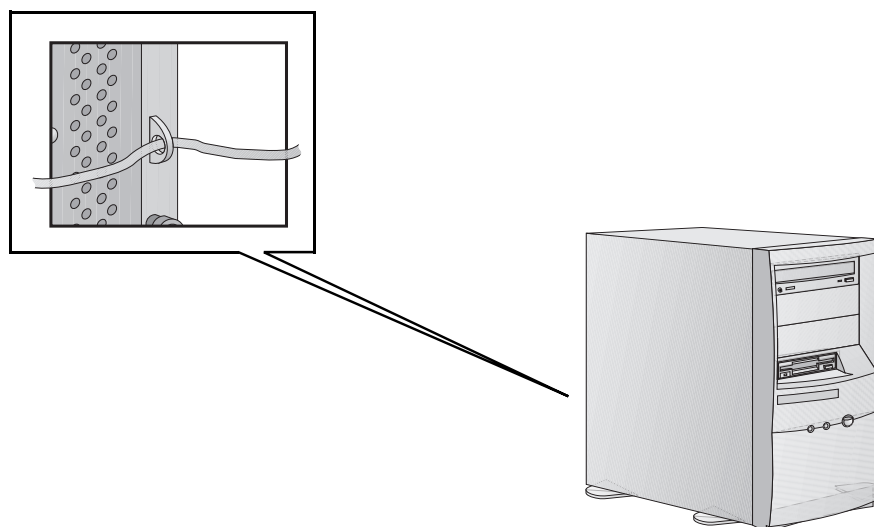
アクセサリ・ボードのスロット番号については、44ページを参照してください。

Plug and Play非対応アクセサリ・ボードを設定する際の、オペレーティング・システムの機能や制限などについては、オペレーティング・システムのマニュアルを参照してください。

2 ミニタワー PC へのアクセサリのインストール方法 セキュリティ・ケーブルのインストール

セキュリティ・ケーブルのインストール

本 PC は、セキュリティ・ケーブルでデスクまたは他の固定物に固定できます。
PCの背面にはケーブルを固定するためのブラケットがあります。



注記

セキュリティ・ケーブルの購入方法については、メーカーにお問い合わせください。

バッテリーの交換

警告

バッテリーは取り付けが正しくないと破裂する危険性があります。また、安全のため、使用済みのバッテリーを充電、分解、焼却しないでください。バッテリーを交換する際は、メーカー指定または同一タイプのバッテリーをご使用ください。本PCに使用するバッテリーは、重金属を含まないリチウム電池です。環境保護のためにもバッテリーを一般ごみとして廃棄しないでください。

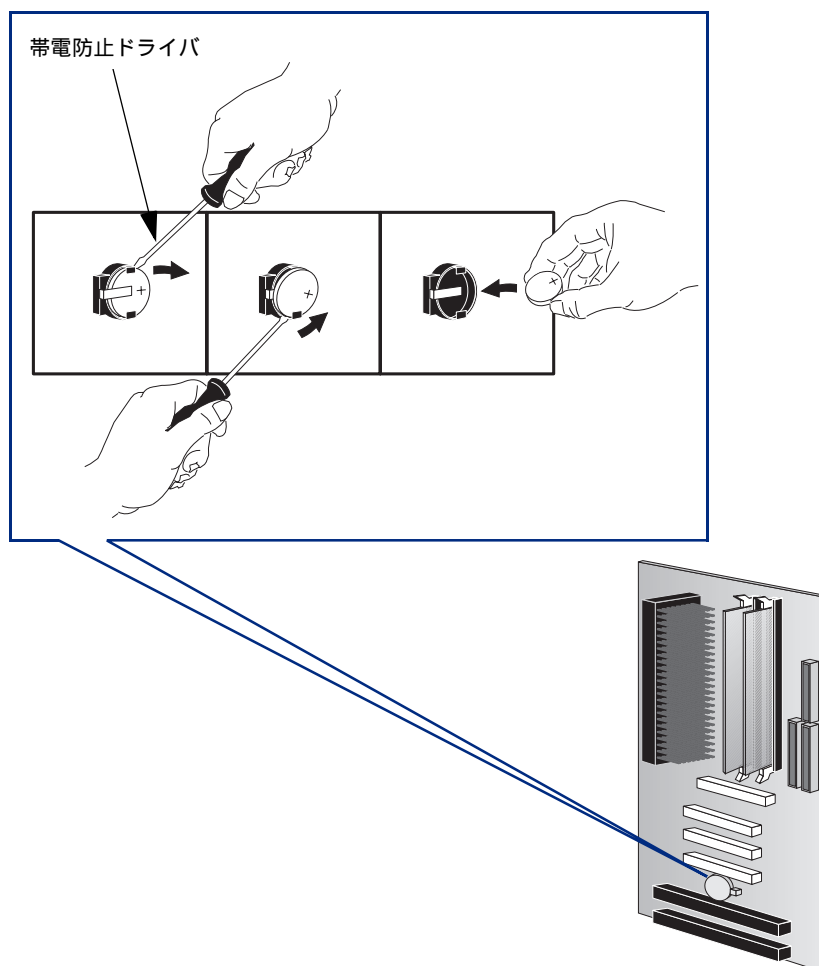
PCの設定内容が消えてしまうようなことが度重なって起きる場合は、そろそろ内蔵バッテリーを交換する時期です。バッテリーはCR2032コイン型マンガン/リチウム・バッテリーをお使いください。このバッテリーはたいていのコンピュータ販売店で扱っています。

バッテリーを交換するには

- 1 コンピュータ本体から電源コードと通信ケーブル等を取り外します。
- 2 コンピュータのカバーを取り外します。
- 3 クリップの下から古いバッテリーをずらして抜き取ります。
- 4 バッテリー・ホルダに新しいバッテリーを入れます。向きが正しいか、しっかりとクリップが留まっているかどうか確かめてください。

2 ミニタワー PC へのアクセサリのインストール方法

バッテリーの交換



2 ミニタワー PC へのアクセサリのインストール方法

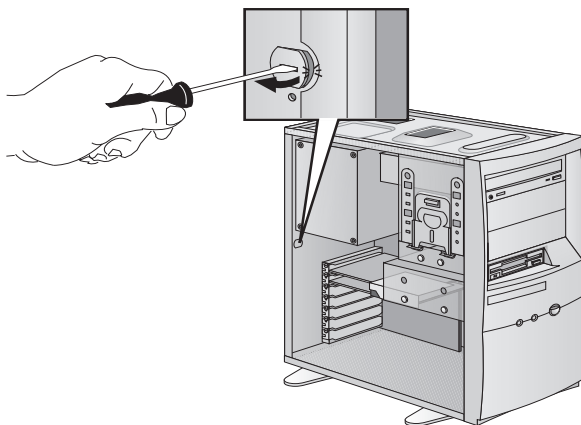
キー・ロックのインストール

キー・ロックのインストール

PCによってはキー・ロックをインストールできる場合があります。

キーロックをインストールするには

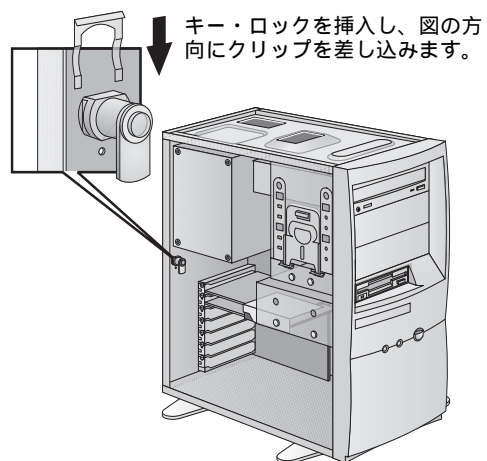
- 1 コンピュータ本体から電源コードと通信ケーブル等を取り外します。
- 2 コンピュータのカバーを取り外します。
- 3 ドライバでPCのシャーシに付いている丸い小さな金属板を取り外します。



- 4 キー・ロックを差込み、附属のクリップで固定します。

2 ミニタワー PC へのアクセサリのインストール方法

キー・ロックのインストール



5 ケーブルおよび電源コードをすべて接続し、カバーを取り付けます。

セキュリティ機能

本章では、本PCのセキュリティ機能について説明します。

3 セキュリティ機能 パスワードの設定

パスワードの設定

本PCには、次の2種類のパスワードがあります。

- BIOSパスワード

管理者パスワードとユーザ・パスワードの2つのパスワードを使用して、2種類の保護レベルを設定できます。どちらのパスワードも、Setupプログラムの **Security** メニューで設定します。

- ソフトウェア・パスワード

Windows NT4.0、Windows 95 などのオペレーティング・システムには、パスワード機能があります。詳細はオペレーティング・システムのマニュアルを参照してください。

BIOS パスワードの使用


ユーザ・パスワードは、すでに管理者パスワードが設定されているときにのみ設定できます。どちらの場合も、パスワードを設定することにより、Setupプログラムの設定内容を保護でき、また、電源オン時にパスワードを確認するプロンプトが表示されるので、部外者によるPCの使用を防止できます。管理者パスワードとユーザ・パスワードの両方を設定している場合、ユーザ・パスワードでSetupプログラムに入ったときは、Setupの項目変更が制限されます。全体の項目変更を行いたい場合は、管理者パスワードでSetupプログラムを起動してください。

Security メニューの **Password Check** 項目では、PCを起動するたびにパスワードを確認するのか、またはSetupプログラムにアクセスするときだけパスワードを確認するのかを設定します。

管理者パスワードの設定

管理者パスワードは次のように設定します。

- 1 Setup プログラムを開始します (Setup プログラムを表示するには、PC の起動時に **F2** キーを押します)。
- 2 **Security** メニューを選択します。
- 3 設定項目の **Set Administrator Password** を選択します。この設定では、パスワードを2度入力するように指示されます。**Exit** を選択し、続いて **Exit Saving Changes** を選択して、変更を保存してから Setup プログラムを終了します。

パスワードのクリアは、パスワード設定と同じ手順で行います。最初に現在のパスワードを入力するように指示されます。次に新しいパスワードを入力するように指示されますが、パスワード・フィールドには何も入力せずに、 キーを押します。

注記

パスワードを忘れた場合は、70 ページを参照してください。

3 セキュリティ機能 パスワードの設定

ユーザ・パスワードの設定

ユーザ・パスワードは、すでに管理者パスワードが設定されているときにのみ設定できます。

ユーザ・パスワードでSetupプログラムに入ったときには、Setupプログラムの項目変更が制限されます。管理者パスワードでSetupプログラムに入った場合、制限はありません。

ユーザ・パスワードは次のように設定します。

- 1 Setupプログラムを開始します (Setupプログラムを表示するには、PCの起動時に **F2** キーを押します)。
- 2 **Security** メニューを選択します。
- 3 設定項目の **Set User Password** を選択します。この設定では、パスワードを2度入力するように指示されます。**Exit** を選択し、続いて **Exit Saving Changes** を選択して、変更を保存してから Setup プログラムを終了します。

パスワードのクリアは、パスワード設定と同じ手順で行います。最初に現在のパスワードを入力するように指示されます。次に新しいパスワードを入力するように指示されますが、パスワード・フィールドには何も入力せずに、**Enter** キーを押します。

注記

パスワードを忘れた場合は、70 ページを参照してください。

4

トラブルシューティング

本章では、このPCを使用する上での様々な問題の解決方法について説明します。本章の指示にしたがっても問題が解決されない場合は、90ページの「HP サポートおよびインフォメーション・サービス」を参照してください。

警告

本章で説明する手順を実行する際は、カバーを取り外す前にすべての電源コードおよび通信ケーブルを取り外すなど、通常の安全上の措置を必ず取ってください。

4 トラブルシューティング

PC が起動できないとき

PCが起動できないとき

現象	問題	原因および解決法
PCが起動しない	電源が入らない	59 ページを参照
PCの電源ライトは点灯しているが、モニタが真っ暗なまま	モニタ表示がされない	60 ページを参照
PCのスイッチを入れると、エラー・メッセージ/コードが表示される	POST(パワーオン・セルフ・テスト)でエラーが検出されている	メモリ・エラー 61 ページを参照 キーボード/マウス・エラー 62 ページを参照 フロッピーディスク・ドライブ・エラー 63 ページを参照 ハードディスク/CD-ROMエラー 64 ページを参照 CMOSエラー 65 ページを参照 シリアル/パラレル・ポート・エラー 66 ページを参照 その他の設定エラー 67 ページを参照 ビープコード・エラー 68 ページを参照

その他の問題

問題	原因および解決法
PCをオフにできない	PCが省電力モードになって 69 ページを参照している
パスワードを忘れた	70 ページを参照
Wake On LAN機能が動作しない	71 ページを参照
サウンド・ボードをインストールした場合、IRQの設定に問題がある	サウンド・ボードに使用している IRQ と他のデバイスの IRQ が衝突している 72 ページを参照
オーディオの問題	73 ページを参照
ソフトウェアの問題	74 ページを参照

4 トラブルシューティング

電源が入らないとき

電源が入らないとき

問 題	確認事項	対処法
PCが起動しないーPCの電源ライトが点灯しない	PCの電源コードが正しく接続されているか	電源コードをPCとアース付きコンセントに接続する
	PCを接続した電源コンセントに異常はないか	電灯などをコンセントにつなぎ、明かりが点くことを確認する
	電圧スイッチの設定は正しいか	<ul style="list-style-type: none">電源コードを取り外す電圧スイッチの設定を正しくする電源コードを接続するPCを起動する
それでもPCが起動しないとき		
警告:安全のため、PCのカバーが開いていて、電源が投入されている時は絶対に、ドライバなどの金属製のものを内部コンポーネントに触れさせないでください	内部デバイスが原因となっているかどうか確認する	<ul style="list-style-type: none">PCの電源コードを取り外すPCのカバーを開けるすべての内部デバイスの電源コネクタを取り外すPCの電源コードを接続する内部デバイスの電源コネクタを1つずつ接続し、どのデバイスが問題となっているのかを特定するHPサポートまたは最寄りのHP代理店までご連絡ください
それでもPCが起動しないとき		
	電源装置に問題がないかどうか確認する	<ul style="list-style-type: none">正常に動作することが分かっている同タイプの別のPCから電源装置を取り外し、交換するPCが正常に起動する場合は、HPサポートまたは最寄りのHP代理店まで電源装置の交換をお申し出ください
以上の処置を施しても問題が解決しないときは、HPサポート窓口または最寄りの正規販売代理店までご連絡ください		

4 トラブルシューティング

画面に何も表示されないとき

画面に何も表示されないとき

問 題	確認事項	対処法
PCの電源ライトおよびハードディスク動作ライトは点灯しているが、画面が真っ暗なままで何も表示されない	ディスプレイのスイッチが入っているか(LEDが点灯しているか)	LED信号(緑色、燈色、点滅)の詳細については、ディスプレイのマニュアルを参照
	ディスプレイの電源コードが正しく接続されているか	電源コードを接続する - コードがアース付きコンセントとディスプレイにきちんと接続されていることを確認する
	ディスプレイを接続した電源コンセントに異常はないか	電灯などをコンセントにつなぎ、明かりが点くことを確認する
	PCの起動時にビープ音が出るか	ビープ・コードについては 68 ページを参照
それでもディスプレイが動作しないとき		
	ディスプレイの輝度およびコントラストの設定が正しいか	必要に応じ、ディスプレイのマニュアルを参照
それでもディスプレイが動作しないとき		
	ビデオ・ケーブルのピンが曲がっていないか	<ul style="list-style-type: none">ディスプレイのスイッチを切り、電源コードを抜くビデオ・ケーブルを取り外し、曲がったピンをまっすぐに直すビデオ・ケーブルを接続するディスプレイのスイッチを入れ、動作するかどうか確かめる
それでもディスプレイが動作しないとき		
	PCのビデオ機能が動作するか	<ul style="list-style-type: none">正常に動作することが分かっている同タイプの別のPCからディスプレイを取り外し、交換するディスプレイが正常に起動する場合は、HP サポートまたは最寄りの HP 代理店までディスプレイの交換をお申し出ください
それでもディスプレイが動作しないとき		
	PCのビデオ・ボードが動作するか	<ul style="list-style-type: none">電源コードを取り外すPCのカバーを開ける正常に動作することが分かっているビデオ・ボードをインストールする電源コードを接続するディスプレイをビデオ・ボードに接続するディスプレイが正常に動作する場合は、HP サポートまたは最寄りの HP 代理店までビデオ・ボードが壊れている可能性があることをお知らせください

4 トラブルシューティング

メモリ・テストエラーが表示されるとき

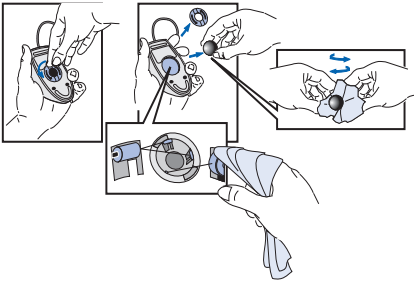
メモリ・テストエラーが表示されるとき

問 題	確認事項	対処法
パワー・オン・セルフ・テストでメモリ・テストエラーが表示される	PCのメモリ・モジュールが正しくインストールされているか	<ul style="list-style-type: none">電源コードを取り外すPCのカバーを開けるメモリ・モジュールのタイプは正しいか、正しいソケットが使用されているか確認する必要に応じ、1章、2章を参照カバーを取り付け、電源コードを接続し、PCが起動するかどうか確認する
それでもPCが起動しないとき		
	PCのメモリ・モジュールは動作するか	<ul style="list-style-type: none">電源コードを取り外すPCのカバーを開ける同じ環境で、メモリ・モジュールが正常に動作しているPCのメモリ・モジュールに置き換えてみる必要に応じて1章、2章を参照カバーを取り付け、電源コードを接続し、PCが起動するかどうか確認する
それでもPCが起動しないとき		
	システム・ボードは動作するか	<ul style="list-style-type: none">電源コードを取り外すPCのカバーを開ける正常に動作することが分かっている同タイプの別のPCからシステム・ボードを取り外し、交換するカバーを取り付け、電源コードを接続し、PCが起動するかどうか確認するPCが正常に起動する場合は、HPサポートまたは最寄りのHP代理店までトラブルの解決法についてお問い合わせください
PCは起動するが、問題が解決されてない場合		
	HP DiagToolsハードウェア診断ユーティリティを起動して、診断テストを実行する	82ページを参照
以上の処置を施しても問題が解決しないときは、HPサポート窓口または最寄りの正規販売代理店までご連絡ください		

4 トラブルシューティング

キーボード/マウス・テストエラーが表示されるとき

キーボード/マウス・テストエラーが表示されるとき

問題	確認事項	対処法
パワーオン・セルフ・テストでキーボード/マウス・テストエラーが表示される	キーボード/マウス・ケーブルが正しく接続されているか	<ul style="list-style-type: none"> PCの電源をオフにする PC背面の各コネクタに、ケーブルを正しく接続する
それでもキーボード/マウスが動作しないとき		
	キーボード/マウスにゴミが溜まっているか、押されたまま元の位置に戻らないキーはないか	<ul style="list-style-type: none"> キーボードのキーが、全て同じ高さであるか、押されたまま元の位置に戻らないキーはないか確認する 下図の要領でマウスを掃除する
		
それでもキーボード/マウスが動作しないとき		
	キーボード/マウスは正常に機能するか	<ul style="list-style-type: none"> PCの電源をオフにする 正常に動作することが分かっている同タイプの別のPCからキーボード/マウスを取り外し、交換する PCの電源を入れ、起動するかどうかを確認する
それでもキーボード/マウスが動作しないとき		
	システム・ボードは動作するか	<ul style="list-style-type: none"> 電源コードを取り外す PCのカバーを開ける 正常に動作することが分かっている同タイプの別のPCからシステム・ボードを取り外し、交換する カバーを取り付け、電源コードを接続し、PCが起動するかどうかを確認する キーボード / マウスが正常に動作する場合は、HP サポートまたは最寄りの HP 代理店までトラブルの解決法についてお問い合わせください
PCは起動するが、問題が解決されてない場合		
	MS-DOSではキーボードが正常に動作する場合、Windowsのキーボードの設定が正しいか確認する	WindowsのSetupプログラムを起動して、正しいキーボードを選択してあるかどうか確認する (詳細は、オペレーティング・システムに付属のマニュアルを参照)
	HP DiagToolsハードウェア診断ユーティリティを起動して、診断テストを実行する	82ページを参照
以上の処置を施しても問題が解決しないときは、HPサポート窓口または最寄りの正規販売代理店までご連絡ください		

4 トラブルシューティング

フロッピーディスク・ドライブ・テストエラーが表示されるとき

フロッピーディスク・ドライブ・テストエラーが表示されるとき

問題	確認事項	対処法
パワーオン・セルフ・テストでフロッピー・ドライブ・テストエラーが表示される	Setupプログラムのドライブの構成設定が正しいか	<ul style="list-style-type: none"> PCの電源をいったんオフにし、数秒待ってからオンにする "F2 Setup"というメッセージが表示されたら、F2キーを押してSetupプログラムに入る フロッピーディスク・ドライブが有効に設定され、選択されているドライブ・タイプが正しいことを確認する
それでもフロッピーディスク・ドライブが動作しないとき		
	HP DiagTools ハードウェア診断ユーティリティを起動して、診断テストを実行する	82ページを参照
それでもフロッピーディスク・ドライブが動作しないとき		
	フロッピーディスク・ドライブのケーブルが正しく接続されているか	<ul style="list-style-type: none"> 電源コードを取り外す PCのカバーを開ける フロッピーディスク・ドライブのケーブルが間違ったコネクタに接続されていないか確認する(1章または2章を参照) カバーを取り付け、スイッチをオンにし、フロッピーディスク・ドライブが動作するか確認する
	フロッピーディスク・ドライブのケーブルに異常はないか	<ul style="list-style-type: none"> 電源コードを取り外す PCのカバーを開ける 正常に動作することが分かっている同タイプの別の PC からフロッピーディスク・ドライブのケーブルを取り外し、交換する(1章または2章を参照) カバーを取り付け、スイッチをオンにし、フロッピーディスク・ドライブが動作するか確認する
それでもフロッピーディスク・ドライブが動作しないとき		
	フロッピーディスクに欠陥はないか	正常に動作することが分かっているフロッピーディスクをドライブに挿入し、ドライブが動作するか確認する
	フロッピーディスク・ドライブが正常に動作するか	<ul style="list-style-type: none"> 電源コードを取り外す PCのカバーを開ける 正常に動作することが分かっている同タイプの別の PC からフロッピーディスク・ドライブを取り外し、交換する(1章または2章を参照) カバーを取り付け、スイッチをオンにし、フロッピーディスク・ドライブが動作するか確認する 正常に動作する場合は、壊れているドライブを取り替える
	システム・ボードは動作するか	<ul style="list-style-type: none"> 電源コードを取り外す PCのカバーを開ける 正常に動作することが分かっている同タイプの別の PC からシステム・ボードを取り外し、交換する カバーを取り付け、電源コードを接続し、PCが起動するかどうかを確認する ドライブが正常に動作する場合は、HP サポートまたは最寄りの HP 代理店までトラブルの解決法についてお問い合わせください
以上の処置を施しても問題が解決しないときは、HP サポート窓口または最寄りの正規販売代理店までご連絡ください		

4 トラブルシューティング

ハードディスク /CD-ROM ドライブ・テストエラーが表示されるとき

ハードディスク /CD-ROM ドライブ・テストエラーが表示されるとき

問題	確認事項	対処法
パワーオン・セルフ・テストでハードディスク /CD-ROM ドライブ・テストエラーが表示される	Setup プログラムのドライブの構成設定が正しいか	<ul style="list-style-type: none"> PCの電源をいったんオフにし、数秒待ってからオンにする "F2 Setup" というメッセージが表示されたら、F2 キーを押して Setup プログラムに入る ハードディスク /CD-ROM ドライブが有効に設定され、選択されているドライブ・タイプが正しいことを確認する
それでもハードディスク /CD-ROM ドライブが動作しないとき		
	HP DiagTools ハードウェア診断ユーティリティを起動して、診断テストを実行する	82 ページを参照
それでもハードディスク /CD-ROM ドライブが動作しないとき		
	各ドライブのケーブルが正しく接続されているか	<ul style="list-style-type: none"> 電源コードを取り外す PCのカバーを開ける 各ドライブのケーブルが正しいコネクタに接続されているか確認する (1章または2章を参照) カバーを取り付け、スイッチをオンにし、各ドライブが動作するか確認する
	各ドライブのケーブルに異常はないか	<ul style="list-style-type: none"> 電源コードを取り外す PCのカバーを開ける 正常に動作することが分かっている同タイプの別のPCから各ドライブのケーブルを取り外し、交換する (1章または2章を参照) カバーを取り付け、スイッチをオンにし、各ドライブが動作するか確認する
それでもハードディスク /CD-ROM ドライブが動作しないとき		
	ハードディスク /CD-ROM ドライブが正常に動作するか	<ul style="list-style-type: none"> 電源コードを取り外す PCのカバーを開ける 正常に動作することが分かっている同タイプの別のPCからハードディスクまたはCD-ROM ドライブを取り外し、交換する (1章または2章を参照) カバーを取り付け、スイッチをオンにし、ドライブが動作するか確認する ドライブが正常に動作する場合は、HP サポートまたは最寄りのHP 代理店までトラブルの解決法についてお問い合わせください。HP Web サポート・サイトからドライバをダウンロードし、再インストールする
	システム・ボードは動作するか	<ul style="list-style-type: none"> 電源コードを取り外す PCのカバーを開ける 正常に動作することが分かっている同タイプの別のPCからシステム・ボードを取り外し、交換する カバーを取り付け、スイッチをオンにし、ドライブが動作するか確認する 正常に動作する場合は、HP サポートまたは最寄りのHP 代理店までトラブルの解決法についてお問い合わせください。
以上の処置を施しても問題が解決しないときは、HP サポート窓口または最寄りの正規販売代理店までご連絡ください		

4 トラブルシューティング

CMOS テストエラーが表示されるとき

CMOS テストエラーが表示されるとき

問題	確認事項	対処法
パワー・オン・セルフ・テストでCMOSテストエラーが表示される	電源が正しくシステム・ボードに接続されているか	<ul style="list-style-type: none">電源コードを取り外すPCのカバーを開ける電源コネクタが、システム・ボードに正しく接続されているかどうか確認するカバーを取り付け、電源コードを接続し、PCが起動するかどうか確認する念のため、デフォルトの構成を再設定してください(67ページを参照)
それでも問題が解決されないとき		
	内蔵バッテリーの残量は十分にあるか	<ul style="list-style-type: none">PCの内蔵時計を、正確な日時にセットする(オペレーティング・システムのマニュアルを参照)PCをオフにし、電源コードのプラグを抜き、その状態で1時間放置するPCを再び起動し、日時の設定が正しいかどうか確認する日時の表示が不正確であれば、PCの内蔵バッテリーを交換する(1章または2章を参照)
	システム・ボードは動作するか	<ul style="list-style-type: none">電源コードを取り外すPCのカバーを開ける正常に動作することが分かっている同タイプの別のPCからシステム・ボードを取り外し、交換するカバーを取り付け、電源コードを接続し、PCが起動するかどうか確認するPCが正常に起動する場合は、HPサポートまたは最寄りのHP代理店までトラブルの解決法についてお問い合わせください。
以上の処置を施しても問題が解決しないときは、HPサポート窓口または最寄りの正規販売代理店までご連絡ください		

4 トラブルシューティング

シリアル/パラレル・ポート・テストエラーが表示されるとき

シリアル/パラレル・ポート・テストエラーが表示されるとき

問題	確認事項	対処法
パワー・オン・セルフ・テストでシリアル/パラレル・ポート・テストエラーが表示される	Setupプログラムのポートの構成設定が正しいか	<ul style="list-style-type: none">PCの電源をいったんオフにし、数秒待ってからオンにする"F2 Setup" というメッセージが表示されたら、F2 キーを押して Setup プログラムに入るポートが有効に設定され、選択されているポートのタイプが正しいことを確認する
それでも問題が解決されないとき		
	HP DiagToolsハードウェア診断ユーティリティを起動して、診断テストを実行する	82 ページを参照
	すべてのデバイスが正しく接続され、スイッチがオンになっているか	<ul style="list-style-type: none">PCの電源をオフにするPC背面のコネクタに正しくケーブルを接続し直すPCと外部デバイスのスイッチをオンにする
	正しいデバイス・ドライバがインストールされているか	デバイスに付属のマニュアルを参照
	システム・ボードは動作するか	<ul style="list-style-type: none">電源コードを取り外すPCのカバーを開ける正常に動作することが分かっている同タイプの別のPCからシステム・ボードを取り外し、交換するカバーを取り付け、電源コードを接続し、PCが起動するかどうか確認するPCが正常に起動する場合は、HP サポートまたは最寄りのHP 代理店までトラブルの解決法についてお問い合わせください。
以上の処置を施しても問題が解決しないときは、HP サポート窓口または最寄りの正規販売代理店までご連絡ください		

4 トラブルシューティング

その他の構成上の問題

その他の構成上の問題

問題	確認事項	対処法
パワー・オン・セルフ・テストでエラーが表示される	Setupプログラムの設定	<ul style="list-style-type: none">PCの電源をオンにする、または再起動する"F2 Setup" というメッセージが表示されたら、F2キーを押してSetupプログラムに入る
	サマリ画面	<ul style="list-style-type: none">PCの電源をオンにする、または再起動する"F2 Setup" というメッセージが表示されたら、ESC キーを押す (サマリ画面を表示しておきたい場合はPAUSEキーを押す。続行するには、任意のキーを押してください)
それでもエラー表示がされるとき		
構成設定が、何らかの理由で破損している可能性が高いので、デフォルト値を再設定する		<ul style="list-style-type: none">PCの電源をオフにし、電源コードを取り外すカバーを取り外すシステム・ボード・スイッチ5(CMOSクリア)をONの位置にして、既存の設定をクリアするカバーを取り付け、電源コードを接続するPCの電源をオンにする。これによってCMOSのメモリがクリアされますPCの起動を待つ。「設定はクリアされました」というメッセージが表示されますPCの電源をオフにし、電源コードとカバーを取り外すシステム・ボード・スイッチ5(CMOSクリア)をOFFの位置にして、設定を有効にするカバーを取り付け、電源コードを接続するPCの電源をオンにする。CMOSデフォルト値をロードするため、通常より起動が遅くなりますF2キーを押してSetupプログラムに入る。日時の設定など、必要なフィールドを更新してから設定を保存し、Setupプログラムを終了する。新しい設定に従ってPCが再起動します

4 トラブルシューティング

起動時の Beep コード

起動時の Beep コード

問題		原因	解決法
PC 起動時に ビープ音が聞こえる	ビープ音 の回数		
	1	DRAM リフレッシュの 失敗	接触不良の可能性もあるので、RAMを マザーボードに差し込み直してみる。 それでもエラーが起こるようであれば、正常に動作することが分かっているメモリ・モジュールと交換する
	2	パリティ・サーキット の故障	
	3	Base 64 KB メモリ不 良	
	4	システム・タイマ・ エラー	HPサポートまたは最寄りのHP代理店 までトラブルの解決法についてお問い 合わせください
	5	プロセッサ不良	
	6	キーボード・コントローラ /Gate A20 故障	接触不良の可能性もあるので、キー ボード・コントローラ・チップをマザー ボードに差し込み直してみる。それで もエラーが起こるようであれば、キー ボード・チップ(コントローラ)を交換 する。それでもエラーが起こるよう であれば、キーボードに関連するシス テムを確認する。例：別のキーボードを 使用してみて、システムのキーボード・ ヒューズが破損していないか(あるい は、システムにキーボード・ヒューズ があるか)を確認する
	7	バーチャル・モード 例外エラー	HPサポートまたは最寄りのHP代理店 までトラブルの解決法についてお問い 合わせください
	8	ディスプレイ・メモリ の読み込み/書込み エ ラー (ビデオ・ボードの メモリ・エラーを示唆)	ビデオ・ボードまたはビデオ・ボード に搭載されているメモリを交換する
	9	ROM BIOS チェックサ ム・エラー (BIOS チッ プの不良を示唆)	このタイプのエラーは、BIOSチップを 差し込み直すことによって解決される ことはほとんどありません。HPサポ ートまたは最寄りの HP 代理店までトラ ブルの解決法についてお問い合わせく ださい
	10	CMOS シャットダウン・ レジスタの読み込み/ 書込みエラー	HPサポートまたは最寄りのHP代理店 までトラブルの解決法についてお問い 合わせください

4 トラブルシューティング

PC をオフにできないとき

PCをオフにできないとき

問題	確認事項	対処法
電源ボタンを押すと低い唸り音またはピープ音が聞こえる	PCがサスペンド/スリープ・モードになっていないか (サスペンド/スリープ・モードの状態では電源を切ると、それまでの情報やデータが失われる可能性があります)	<ul style="list-style-type: none">マウスか任意のキーを押してPCを通常モードに復帰させてみる。 PCが復帰せず、電源ボタンを押してもオフにできないときは、PCの電源コードをコンセントから抜いてください
電源ボタンを押したとき低い唸り音やピープ音は聞こえなくても、PCをオフにできない	作業中のデータを保存し、全てのプログラムを終了したか	<ul style="list-style-type: none">可能であれば、作業中のデータを保存し、全てのプログラムを終了する電源ボタンを5秒間押し続けることによって、PCの電源はオフになります

4 トラブルシューティング

パスワードを忘れたとき

パスワードを忘れたとき

注記

HP Setup プログラムでパスワード設定を行った場合、本項を参照してください。

問題	解決法
ユーザ・パスワードを忘れた	<ul style="list-style-type: none">• PCの電源を切る• 再度電源を入れて、PCを起動する。パスワードを入力するように指示されたら、管理者パスワードを入力する• "F2 Setup"というメッセージが表示されたら、F2キーを押す• 管理者パスワードを入力し、Setupプログラムへ入る• [Security]メニューを選択する• [Set User Password]フィールドに新しいユーザ・パスワードを入力する。これより、忘れたパスワードに代わって新しいパスワードが設定されます• F3キーを押して新しいパスワードを保存し、Setupプログラムを終了する
管理者パスワードを忘れた	<ul style="list-style-type: none">• PCの電源を切り、電源コードを取り外す• PC本体のカバーを取り外す• システム・ボード・スイッチ6をONの位置にする• PCの電源を入れ、起動プロセスが完了するまでそのまま待つ。メッセージが表示されたら、• PCの電源を切る• スイッチ6をOFFの位置に戻す• PC本体のカバーを取り付ける• PCの電源を入れ、起動プロセスが完了するまでそのまま待つ• POST(パワーオン・セルフ・テスト)が終わり、"F2 Setup"というメッセージが表示されたら、F2キーを押してSetupプログラムに入る• 新しい管理者パスワードおよびユーザ・パスワードを設定する• F3キーを押して新しいパスワードを保存し、Setupプログラムを終了する

4 トラブルシューティング

Wake On LAN 機能が動作しないとき

Wake On LAN機能が動作しないとき

問題	解決法
Wake On LAN機能をサポートするLANボードをインストールしたが、Wake On LAN機能が動作しない	<ul style="list-style-type: none">Wake On LANケーブルが、システム・ボードとLAN・ボードに正しく接続されているか確認する(デスクトップ・モデルをご使用の場合: 20 ページを参照、ミニタワー・モデルをご使用の場合: 46 ページを参照)LANボードのインストールおよび使用方法については、LANボードに付属のマニュアルを参照Wake On LANフィールドが、Setup プログラムの[Advanced] - [Power Management Setup] メニューで無効に設定されているか確認する(このためには、PC を再起動して、"F2 Setup" というメッセージが表示されたら、F2キーを押して Setup プログラムに入る必要があります)

4 トラブルシューティング

IRQ の設定に問題があるとき (サウンド・ボードをインストールした場合)

IRQ の設定に問題があるとき (サウンド・ボードをインストールした場合)

問題	解決法
サウンド・ボードをインストールしており、「サウンド・ボードに使用できる IRQ(割り込み要求)がありません」というメッセージが表示された	サウンド・ボードに付属のインストール・ガイドに従って、サウンド・ボードのインストールを行ったかどうかを確認する
それでも問題が解決しないとき	<ul style="list-style-type: none">PCを再起動して、「F2 Setup」というメッセージが表示されたら、F2キーを押して Setup プログラムに入るISA サウンド・ボード用の IRQ を予約する。IRQ5、IRQ9、IRQ10 または IRQ11 が、サウンド・ボード用に使用可能。まず、[Advanced] メニューから [Plug and Play Setup] サブメニューを選択し、上記いずれかの IRQ を ISA サウンド・ボードが使用するように設定する。次に、[Plug and Play Aware O/S] を NO にセットするF3 キーを押して新しい設定を保存し、Setup プログラムを終了するWindows NT をオペレーティング・システムとしてご利用の場合、NT を再インストールする

注記

通常、Windows95 のような Plug and Play 対応のオペレーティング・システムでは、新しくインストールされたハードウェアの IRQ は自動で割り当てられます。

4 トラブルシューティング

オーディオに問題があるとき

オーディオに問題があるとき

問題	解決法
どのアプリケーションでも音が出ない	Windows NT 4.0をご使用の場合は、ボリューム、ミュート、バランスの設定を確認します。詳細は、オペレーティング・システムに付属のマニュアルを参照してください。 音が出ない問題は、ハードウェア・コンフリクトによっても起こります。ハードウェアに対するコンフリクトは、2つ以上の周辺機器が同じ信号ラインやチャンネルに対しコンフリクトするときに起こります。オーディオ・インターフェイスとほかの周辺機器との間のコンフリクトは、I/O アドレス、IRQ チャンネル、DMA チャンネルの設定状況によることが考えられます。コンフリクトを解消するには、オーディオ・インターフェイスまたは他の ISA アクセサリに対するこれらの設定を変更します (72 ページを参照)。
8 ビットまたは 16 ビット・デジタル・サウンドからの出力がない	これは、DMA チャンネルの設定状況や割り込みの競合によって起こります。オペレーティング・システムに付属しているオーディオ調整ソフトウェアを起動し、オーディオ・インターフェイスの DMA チャンネルまたは IRQ 設定を変更してください。
マイクロフォンから入力した音が小さい、または全く入力できない	マイクロフォンの仕様が、16 ビット・サウンド・コンポーネントの要求を満たしているか確認します。マイクロフォンは、600 エレクトレット・タイプでなければなりません。
ハム・ノイズ	オーディオ・コンポーネントの電源ラインのアースが適切でないと、ハム・ノイズが発生しやすくなります。全ての装置を隣接するコンセント (相互の間隔が 5cm 以内のコンセント) に接続するか、またはライン・フィルタを使用してください。
サウンド再生時にバチバチ音がすることがある	このようなバチバチ音は通常、PC が音声サンプルを要求された時間内に転送できないことが原因です。解決法としては、遅いサンプリング速度を使用します。22kHz における録音/再生の方が、44kHz における録音よりもシステム・リソースに対する要求を低く抑えることができます。
録音中に PC がハングアップする	圧縮しないデジタル音声により、ハードディスクが一杯になることがあります。例えば 44kHz の分解能で録音された 1 分間のステレオ・サウンドは、約 10.5MB のスペースを占めます。録音を行う前には、ハードディスクに十分なスペースがあるか確認してください。 圧縮により、データの占めるスペースを節約できます。オーディオ・インターフェイスが使用する A-law および μ -law ハードウェア圧縮は、16 ビットの分解能でサウンドのサンプリングを行い、同じ量のデータを 8 ビット・サンプルとして生成します。

4 トラブルシューティング

ソフトウェアに問題があるとき

ソフトウェアに問題があるとき

問題	解決法
電源スイッチ上のインジケータが点灯していて、一部のソフトウェアが動作しないとき	オペレーティング・システムおよびアプリケーション・ソフトウェアに付属のマニュアルを参照してください。
日付と時刻が間違っている	日付と時刻が間違ってる場合には、次のような原因が考えられます。 <ul style="list-style-type: none">サマー・タイムで時間を変更した長い間PCを電源に接続しておかなかったため、バッテリーが放電した 日付と時刻は、オペレーティング・システムのユーティリティを使用するか、またはSetupプログラムで設定できます。

4 トラブルシューティング

ハードディスクの内容の復元

ハードディスクの内容の復元

ハードディスク・クラッシュなど、予期せぬ事態が生じた場合、出荷時にインストールされたハードディスク内のソフトウェアを復元することができます。復元できるソフトウェアには、主に以下のものがあります。

- オペレーティング・システム
- HP 提供のドライバ(ビデオ、IDE、LANなど)
- HP 製管理アプリケーション(HP TopTools、HP DiagToolsなど)

注記

出荷後にインストールしたソフトウェア、アプリケーションによって生成された個人用データは復元の対象とはなりません。

ハードディスクの交換

ハードディスクが破損し使用不能になった場合は、新しいハードディスクに交換する必要があります。ハードディスク・ドライブのインストール方法については、本書の第1章および第2章を参照してください。

新品のハードディスクに交換する場合は、ドライブのパーティション設定およびフォーマットを行う必要があります。パーティションの設定方法については、オペレーティング・システムに付属のマニュアルを参照してください。

4 トラブルシューティング

ハードディスクの内容の復元

CD-ROMからソフトウェアを復元する (Windows 95およびWindows NT搭載システム)

HP リカバリ CD-ROMには、工場出荷時状態のHP Vectra VEのディスク・イメージ(出荷時にプリロードされたデータ)が収録されています。

- 1 CD-ROMドライブがない場合は、PC本体のカバーを開けて、セカンダリIDEケーブルのマス・コネクタにCD-ROMドライブを接続します。
- 2 CD-ROMドライブにリカバリCD-ROMをセットします。
- 3 PCを再起動し、CD-ROMからブートさせます(ただし、SetupプログラムでCD-ROMをブート・デバイスに設定しておく必要があります)。
- 4 画面に表示される指示にしたがって、オリジナルのディスク・イメージを復元します。
- 5 PCをシャットダウンします。必要であれば、CD-ROMドライブを取り外します。
- 6 カバーを閉じ、PCを再起動します。
- 7 オペレーティング・システムおよびHP専用ソフトウェアをインストールします。

2基目のハードディスク・ドライブからソフトウェアを復元する (Windows NT搭載システム)

ソフトウェアの復元方法の1つとして、別のハードディスク・ドライブを復元の必要なPCのIDE空きコネクタに一時的に接続し、このハードディスク・ドライブからソフトウェアの復元が必要なハードディスク・ドライブにソフトウェアを再インストールする方法があります。2基目のハードディスク・ドライブには、復元が必要な最初のハードディスク・ドライブと同じディスク・イメージ(オペレーティング・システム、ドライバ、プリロードのソフトウェアなど)が格納されている必要があります。

別のハードディスク
からソフトウェアを
コピーする

- 1 別のWindows NT搭載モデルから起動可能なハードディスク・ドライブを一時的に取り外し、復元が必要なPCのIDE空きコネクタ(例：プライマリIDEケーブルのスレーブ・コネクタ)に接続します。
- 2 新しいハードディスク・ドライブからブートします。ただし、Setupプログラムでこのドライブを1番目のブート・デバイスに設定しておく必要があります(Setupプログラムを起動するには、F2 Setupが表示されている間に[F2]キーを押します)。
- 3 必要に応じて、プライマリIDEケーブルのマス・コネクタに接続されているハードディスク・ドライブのフォーマットを行います。
- 4 スレーブ・コネクタに接続されたハードディスク・ドライブ内のMASTERSディレクトリ、I386ディレクトリおよびLANDRVディレクトリ(これらのディレクトリが存在する場合)をマス・コネクタに接続されたハードディスク・ドライブにコピーします。

4 トラブルシューティング

ハードディスクの内容の復元

- 5 スレーブ・コネクタに接続されたハードディスク・ドライブを取り外し、元の Vectra VE PCに戻します。
- 6 PCを再起動します。
- 7 Setup プログラムを起動し (Setup プログラムを起動するには、**F2 Setup**が表示されている間に **(F2)** キーを押します)、プライマリ IDE ケーブルのマスタ・コネクタに接続されているドライブをブート・デバイスとして設定します。
- 8 オペレーティング・システムと HP 専用ソフトウェアをインストールします。

Windows NT 4 SP3 と HP ソフトウェア・コンポーネントのインストール

この作業を行うには、ご使用の HP Vectra VE のハードディスク・ドライブをブート・デバイスとして設定し、あらかじめ以下のディレクトリを作成しておく必要があります。

- I386(Service Pack 3 を含む Windows NT 4 を収録)
- MASTERS(HP 専用ソフトウェアを収録)
- LANDRV(LAN ドライバを収録)
- IDE ドライバ(下記の注記を参照)

オペレーティング・システムのインストールが終了したら、この MASTERS ディレクトリから HP ソフトウェア・コンポーネントのインストールを行ってください。インストール手順については後で説明する手順にしたがってください。

HP ソフトウェア・コンポーネントをハードディスクにロードした後、またはソフトウェア・コンポーネントのいずれかをインストールする前に、以下のディレクトリが設定されている必要があります。

i386	Windows NT 4 を収録。このディレクトリから、Windows NT 4 および Service Pack 3 を再インストールできる。
LANDRV	LAN ドライバーを収録
MASTERS	HP ソフトウェアのマスタ・バージョンを収録

4 トラブルシューティング

ハードディスクの内容の復元

注記

マスタIDEドライバがお手元がない場合は、次のHP Webサイトからダウンロードする必要があります。

<http://www.hp.com/go/vectrasupport>

ダウンロードが終了したら、MASTERSディレクトリ内にIDEディレクトリおよびVIDEOディレクトリを作成し、それぞれのインストール用ファイルをコピーします。あとはIDEおよびVIDEOドライバに付属のreadmeファイルに記載された手順にしたがってください。

NT 4およびService Pack 3のインストール

本項では、Windows NT 4.0 WorkstationおよびService Pack 3をHP Vectra VEに手動インストールする方法について説明します。次の順にインストールを行うことを推奨します。

- Windows NT 4.0 に添付の標準システム・ドライバを使用してベーシック・インストールを行います。このとき、ネットワーク機能のインストールは行いません。
- 次に、NT 4.0 Workstationを起動し、稼動した状態で、HPドライバをインストールします。これによりIDEおよびSCSI大容量記憶装置、ネットワーク、ビデオなどに対して機能性、安定性、性能などが得られます。

HP製ドライバの最新バージョンおよびインストール手順は、下記のHP Webサイトから入手することができます。

<http://www.hp.com/go/vectrasupport>

ベーシック・インストール

この作業を行うには、本PCにCD-ROMドライブを接続しておくか、できれば、SP 3サブディレクトリの内容とともに、I386ディレクトリの内容を前述した手順で復元しておいてください。

- 1 WINNTを実行し、NT 4.0をインストールします。フロッピーディスクが使用されないように、/Bオプションを使用します。画面に表示される手順にしたがってください。
- 2 ファイル・システムのタイプをたずねるメッセージが表示されたら、FATまたはNTFSのどちらかを選択します。NTFSは32ビットをサポートするファイル・システムで、非常に広い区画を処理できますが、FATタイプのユーティリティを使用した場合、不具合が生じる可能性があります。
- 3 最初のリポート後に表示される2番目のステップ「Windows NTネットワーク機能のインストール」で、「まだネットワークに接続しない」を選んで、セットアップ中にネットワークのインストールを行わないように設定します。
- 4 セットアップ手順の終了前に表示される設定項目で、ビデオ・アダプタにVGA互換ディスプレイ・アダプタが選択されていることを確認します。
- 5 PCをリブートします。NT 4.0のベーシック・インストールが完了します。

4 トラブルシューティング

ハードディスクの内容の復元

オプション

CD-ROM からオペレーティング・システムのインストールを行う時は、CD-ROMからご使用のHDDにi386ディレクトリをコピーしてください(約78 Mバイトのスペースを使用)。同時にSP3ディレクトリも作成し、Service Pack 3をコピーしてください。

NT 4 Service Pack 3
のインストール

Service Pack 3は、i386\Sp3\i386ディレクトリにあります。HDDの内容を復元する場合、これらのディレクトリを作成し、SP3からファイルをすべてロードしてください。Service Pack 3がお手元がない場合は、下記のMicrosoft社のWebサイトからダウンロードしてください。

<http://www.microsoft.com>

UPDATE.EXEを実行し、あとは指示に従ってください。アンインストール用ディレクトリを忘れずに作成してください(Service Packのインストール時に必要になります)。

HPアプリケーションのインストール

LAN、IDE、ビデオ・
ドライバ

HP製ドライバは、下記のHP Webサイトから入手することができます。

<http://www.hp.com/go/vectrasupport>

ダウンロードしたソフトウェアは各ドライバのディレクトリに展開し、あとはREADME.TXTに記載された手順にしたがってください。

HP TopTools

HP TopTools インスタレーション・ソフトウェアとImplementation GuideはHP Manageability Webサイト (<http://www.hp.com/go/manageability>)からダウンロードしてください。ダウンロードしたソフトウェアを展開し、インストール・プログラムを実行してください。

HP DiagTools

HP DiagTools インスタレーション・ソフトウェアをHP Webサイトからダウンロードします (<http://www.hp.com/go/vectrasupport>)。HP DiagToolsのインストールと使用に関する詳細は、82ページを参照してください。

その他のソフトウェアのインストール

以上で、ハードディスクは当初の状態に復元しました。必要に応じて、他のソフトウェアのインストールを行ってください。ハードディスクのバックアップは忘れずにとっておいてください。

4 トラブルシューティング

BIOS の修復

BIOSの修復

BIOSをアップデート(フラッシュ)しようとしても失敗する場合は、不良なROMイメージ、またはアップデート中の停電などの原因が考えられます。BIOSのアップデートに失敗すると、BIOSは破損したままの状態になります。このような状態になったら、BootBlockを使用して、破損したBIOSを修復する必要があります。

BootBlockの説明 BootBlockは、BIOSメモリ内の領域で、通常のBIOSのアップデートで消されてしまうことはありません。BootBlockには必要最低限のコマンドが含まれています。そのコマンドにより、標準のブート・プロセスを行わずに、直接フロッピーディスクからブートを行います。

注意 通常のBIOSアップデート手段として、BootBlockを使用しないでください。BootBlockは、BIOSの復元だけにお使いください。

BootBlockは製造過程でロードされるため、アップデートは行われません。

BootBlockの用法 破損BIOSを修復するには、HS0x0x.ROMというBIOSファイルを含むフロッピー・ディスクが必要です。ただし、HS0x0x.ROMのままではご使用になれませんので、必ずAMIBOOT.ROMとファイル名を変更してからお使いください(ファイル名の変更は各自で行ってください)。

破損BIOSを復旧するためのBootBlock起動手順は以下の通りです。

- 1 PCの電源コードおよびすべてのネットワーク・ケーブルを取り外します。
- 2 PC本体のカバーを開けます。
- 3 システム・ボード・スイッチ5(Clear CMOS)と6(Clear Passwords)をONの位置にします。
- 4 カバーを取り付け、電源コードを接続します。
- 5 フロッピーディスクをフロッピーディスク・ドライブに挿入します。

4 トラブルシューティング

BIOS の修復

- 6 (CTRL)+(HOME) を押しながら、PCの電源をオンにします。BootBlock が、フロッピー・ディスクから AMIBOOT.ROM をロードし、BIOS をフラッシュします。この行程には数分を要します。フラッシュが完了したら、PC は自動的にリブートします。
- 7 PCをシャット・ダウンして、電源コードを取り外します。
- 8 PCのカバーを開け、システム・ボード・スイッチ5と6をOFFの位置に戻します。
- 9 カバーを取り付け、電源コードおよびすべてのネットワーク・ケーブルを接続します。フロッピー・ディスクをフロッピーディスク・ドライブから取り出して、PCの電源をオンにします。

以上の処置で、PCは正常に起動します。

4 トラブルシューティング

HP DiagTools

HP DiagTools

HP DiagToolsを使って、HP Vectra PCおよびPCワークステーションで発生するハードウェアに関連する不具合を診断することができます。

本ユーティリティには、次の機能を持つツール・セットが含まれます。

- システムの設定を確認し、正常に機能していることを検証する。
- ベーシックおよびアドバンストの2つのレベルでテストを実行し、ハードウェア関連の不具合を診断する。
- HP のサポート担当者が不具合を速やかに効率的に解決できるよう、正確な情報を提供する。

ハードウェア関連の不具合を診断には、本ユーティリティの最新バージョンをインストールして、使用方法を理解しておくことが重要です。HPハードウェア診断ユーティリティの最新バージョンがインストールされていない場合は、HP のサポート担当者がサポートを提供する際、まず HP DiagToolsの最新バージョンをご用意頂くようお願いすることがありますのでご了承願います。

本ユーティリティの最新バージョンは、毎日24時間利用可能なHP電子情報サービスから入手することができます。これらのサービスにアクセスするには、下記のHPWebサイトに接続してください。

<http://www.hp.com/go/vectrasupport/>

診断ユーティリティの 起動

DiagToolの起動方法は次の通りです。

- 1 すべてのアプリケーションを終了し、オペレーティング・システムをシャットダウンしてPCを再起動します。
 - a 診断ユーティリティを、フロッピーディスクまたはCDから起動させる場合、PCを再起動する前に、ディスクをそれぞれのドライブに挿入してください。再起動すると、ユーティリティが自動的に立ち上がり、Welcome画面が表示されます。
 - b 診断ユーティリティをハードディスクから起動させる場合、PCが再起動する際に、通常のエオペレーティング・システムを起動させるか、ユーティリティを起動させるかを選択する画面が表示されますので [Vectra Hardware Diagnostics] を選択してください。ユーティリティが自動的に立ち上がり、Welcome画面が表示されます。

4 トラブルシューティング

HP DiagTools

- 2 Welcome画面が表示されたら、**[F2]** キーを押して次に進みます。画面に表示される指示にしたがって、診断テストを実行します。

ユーティリティは、システムのハードウェア構成を自動検出した後、ただちに診断テストを実行します。

ベーシック・システム・テスト システム・ハードウェアの稼動状態を検証するには、ベーシック・システム・テストを実行します。

アドバンスド・システム・テスト 各システム・コンポーネント内部のより綿密なテストを行うには、アドバンスド・システム・テストを実行します。

注記

アドバンスド・テストは、中級または上級ユーザーの方に適しています。

サポート・チケット システム構成およびテスト結果の正確な記録を残しておくには、サポート・チケットを作成する必要があります。サポート・チケットは、最寄りのHPサポート窓口まで電子メールまたはファックスでお送りください。

本ユーティリティの使用方法についての詳細は、『Vectra Hardware Diagnostic User's Guide』を参照してください。本ガイドは下記のHPWebサイトで入手できます。

<http://www.hp.com/go/vectrasupport/>

4 トラブルシューティング

デバイスのブート順

デバイスのブート順

起動(ブート)を行うドライブを選択するには、Setup プログラムに入り、**[Advanced]** - **[Advanced CMOS Setup]** を選択します。次に、ブートを行うデバイスを1番から4番まで設定します。ハードディスク・ドライブをIDE マスタ・コネクタに接続するだけでは、PCがそのハードディスクからブートすることにはなりません。

注記

PCを最初に起動するときは、デフォルト設定によりIDE マスタ・コネクタに接続されたハードディスク・ドライブからブートします。

ハードディスク・ドライブのIDE コネクタ(マスタおよびスレーブ)を切り替えただけでは Setup プログラムのブート設定は変更されないため、何の効果もありません。
次の例を参照してください。

例

2基のハードディスク・ドライブがインストールされている場合:

ハードディスク・ドライブ	物理的接続	Setup プログラムにおける HDD ブート設定	論理ドライブ
3.2 GB	IDE マスタ・コネクタ	1 (このHDDからブート)	C:
4.3 GB	IDE スレーブ・コネクタ	2	D:

下の表のように、2基のハードディスク・ドライブ間でIDE データ・コネクタを切り替えても、ブート設定はまったく変わりません。

ハードディスク・ドライブ	物理的接続	Setup プログラムにおける HDD ブート設定	論理ドライブ
3.2 GB	IDE スレーブ・コネクタ	1 (このHDDからブート)	C:
4.3 GB	IDE マスタ・コネクタ	2	D:

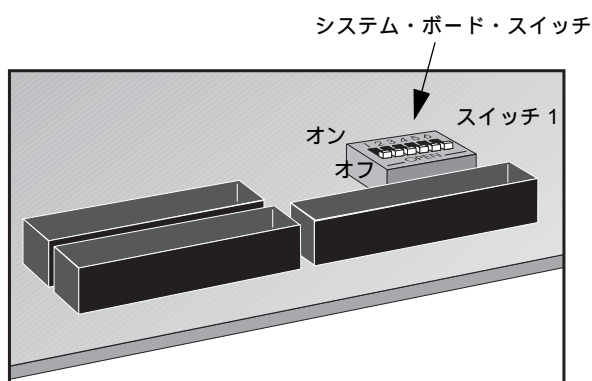
起動用ハードディスク・ドライブを変更するには、Setup プログラムで設定を変更する必要があります。上の例の場合、次のようになります。

ハードディスク・ドライブ	物理的接続	Setup プログラムにおける HDD ブート設定	論理ドライブ
3.2 GB	IDE スレーブ・コネクタ	2	D:
4.3 GB	IDE マスタ・コネクタ	1 (このHDDからブート)	C:

上の例では、Setup プログラムでの設定変更にしたがって、3.2GBのハードディスク・ドライブではなく、4.3GBのハードディスク・ドライブから起動するようになります。

技術情報

システム・ボード・スイッチ



スイッチ	機能
1 - 4	プロセッサ速度(次の表を参照)
5	CMOS: Off=通常の操作(デフォルト) On= CMOSのクリア、Setupプログラムのデフォルト値を再ロード
6	パスワード: Off = 有効 (デフォルト) On = 無効 / ユーザーおよび管理者パスワードをクリア

プロセッサ 速度	スイッチ 1	スイッチ 2	スイッチ 3	スイッチ 4
233	Off	Off	On	On
266	On	On	Off	On
300	Off	On	Off	On
333	On	Off	Off	On

4 トラブルシューティング

技術情報

電力消費

電力消費量 (Windows NT 4.0)	115 V / 60 Hz	230 V / 50 Hz
動作時 (出力有り)	34.1 W	35 W
動作時 (出力無し)	34 W	34.8 W
スタンバイ・モード	23 W	23.4 W
電源オフ	2.36 W	2.37 W

Vスタンバイ電力: 720 mA

注記

フロント・パネルの電源スイッチで電源をオフにすると、電力消費は 5W 以下になります (ゼロにはなりません)。本 PC が採用するこの特殊なオン/オフ方式は電源装置の寿命を大幅に延ばします。電源オフ時の電力消費をゼロにするには、PC の電源コードをコンセントから抜くか、スイッチ付きの電源ブロックを使用してください。

ISA アクセサリ・スロットに対する標準的な電力消費/使用可能電力

+5 V	最大 4.5A/スロット (システム・ボードにより制御)
+12 V	最大 1.5A/スロット (システム・ボードにより制御)
-5 V	最大合計 0.1A (電源により制御)
-12 V	最大合計 0.3A (電源により制御)

PCI アクセサリ・スロットに対する標準的な電力消費/使用可能電力

+5 V	最大 4.5A/スロット
+12 V	最大 0.5A/スロット
-12 V	最大 0.1A/スロット

すべての電源供給レール間で、スロットあたりの最大電力消費は 25W に制限されます。

音響ノイズ・エミッション

音響ノイズ・エミッション	音響出力	音圧
動作時	LwA < 40 dB	LpA < 28 dB
HDD へのアクセス時	LwA < 41 dB	LpA < 32 dB
FDD へのアクセス時	LwA < 43 dB	LpA < 37 dB

4 トラブルシューティング

技術情報

物理的特性

デスクトップ・モデル

特徴	説明
重量 (キーボードとディスプレイを除く)	9.9 kg
外形寸法	幅: 43.18 cm 高さ: 17 cm 奥行き: 43 cm
設置面積	0.175 m ²
保管時温度	-20 °C ~ 60°C
保管時湿度	8% ~ 80%(相対湿度)、40°Cで結露なし
動作時温度	5 °C ~ 35 °C
動作時湿度	15% ~ 80%(相対湿度)
電源	電源電圧: 100 ~ 127Vac/ 200 ~ 240 Vac (全モデルに電圧選択スイッチが付属) 電源周波数: 45/66 Hz 最大出力: 145 W(連続)

ミニタワー・モデル

特徴	説明
重量 (キーボードとディスプレイを除く)	9.8 kg
外形寸法	幅: 19 cm 高さ: 40 cm 奥行き: 45.2 cm
設置面積	0.0817 m ²
保管時温度	-20 °C ~ 60°C
保管時湿度	8% ~ 80%(相対湿度)、40 °Cで結露なし
動作時温度	5 °C ~ 35 °C
動作時湿度	15% ~ 80%(相対湿度)
電源	電源電圧: 100 ~ 127Vac/ 200 ~ 240 Vac (全モデルに電圧選択スイッチが付属) 電源周波数: 45/66 Hz 最大出力: 145 W(連続)

4 トラブルシューティング

技術情報

本PCが使用するIRQ、DMA、I/Oアドレス

本PCが使用するIRQ ここで示したIRQ、 DMA、I/Oアドレスの マッピングは、基本構 成のPCに対するもの です。ご使用のPCの リソースは、バンドル されているアクセサ リ・ボードによって異 なります。	IRQ0	PIIX4e システム・タイマ
	IRQ1	NS309 キーボード・コントローラ
	IRQ3	NS309 COM2、COM4
	IRQ4	NS309 COM1、COM3
	IRQ6	NS309 フロッピー・ディスク・コントローラ
	IRQ7	NS309 LPT
	IRQ8	NS309 RTC
	IRQ12	NS309 マウス
	IRQ14	PIIX4e IDE チャンネル 1
本PCが使用するDMA	DMA 0	空き
	DMA 1	空き
	DMA 2	NS309 フロッピーディスク・コントローラ
	DMA 3	NS309 LPT ECP
	DMA 4	DMA チャンネル 0 ~ 3 のカスケードに使用
	DMA 5	空き
	DMA 6	空き
	DMA 7	空き

4 トラブルシューティング

技術情報

本PCが使用する I/Oアドレス	0000 - 000F	DMAコントローラ 1
	0020 - 0021	マスタ割り込みコントローラ(8259)
	002E - 002F	NS309 構成レジスタ
	0040 - 0043	タイマ1
	0060、0064	キーボード・コントローラ(リセット、スロー A20)
	0061	ポートB (スピーカ、NMIステータスおよびコントロール)
	0070 ビット7:	NMIマスク・レジスタ
	0070 - 0071	RTCおよびCMOSデータ
	0080	製造ポート(POSTカード)
	0081 - 0083、 008F	DMAロー・ページ・レジスタ
	0092	PS/2 リセットおよびFast A20
	00A0 - 00A1	スレーブ割り込みコントローラ
	00C0 - 00DF	DMAコントローラ2
	00F0 - 00FF	コプロセッサ・エラー
	0170 - 0177	IDEセカンダリ・チャンネル
	01F0 - 01F7	IDEプライマリ・チャンネル
	0278 - 027F	LPT 2
	02E8 - 02EF	シリアル・ポート4(COM4)
	02F8 - 02FF	シリアル・ポート2(COM2)
	0372 - 0377	IDEセカンダリ・チャンネル、 2台目のフロッピーディスク・ドライブ
	0378 - 037A	LPT1
	03B0 - 03DF	VGA
	03E8 - 03EF	COM3
	03F0h- 03F5	フロッピーディスク・ドライブ・コントローラ
	03F6	IDEプライマリ・チャンネル
	03F7	フロッピーディスク・ドライブ・コントローラ
	03F8 - 03FF	COM1
	04D0 - 04D1	割り込みエッジ/レベル制御
	0678 - 067B	LPT2 ECP
	0778 - 077B	LPT1 ECP
	0CF8 - 0CFF	PCI 構成領域

4 トラブルシューティング

HP サポートおよびインフォメーション・サービス

HPサポートおよびインフォメーション・サービス

ヒューレット・パッカード社のコンピュータは、長期間にわたり故障無く使用していただけるよう高い品質と信頼性を念頭において開発、製造されています。ご使用のコンピュータ・システムが高い信頼性を維持し、また最新の開発成果に合わせてアップグレードできるよう、HPは全世界に正規販売代理店からなるネットワークを配置し、充実したサポートとサービスを行っています。

HPが提供する各種サービスとサポートについての詳細は、次のHP Webサイトにアクセスしてください。

Vectra ホーム・ページ

<http://www.jpn.hp.com/GRP1/vectra> (日本語)

<http://www.hp.com/go/vectra/> (英語)

サポート・ページ

<http://www.hp.com/go/vectrasupport/> (英語)

HP Webサイトでは、次の情報をはじめ、HP 製品、各種サービスおよびサポートに関する幅広い情報を提供しております(日本 HP の Web サイトでは、一部の機能は提供していません)。

- HP の各種サービスとサポートの内容
- 本PC用サポート・ガイド(HTML形式)
- 本PCに必要なマニュアル一式を収録したMISキット
(詳細はviページを参照してください)
- 本PC用ドライバとソフトウェア

索引

- B**
Beep コード 68
BIOS, アップデートの失敗 80
- C**
CD-ROM ドライブ
POST エラー 64
インストール 13, 40
CMOS
設定のクリア 67
POST エラー 65
- D**
DMA, 仕様 88
- H**
HP DiagTools 82
HP サポート 90
- I**
I/O アドレス, 仕様 88
IDE デバイス
接続 7, 34
設定 9, 36
IRQ
競合 72
仕様 88
- M**
MIS kit
内容 vi
- P**
PC
オフにできない 69
画面に何も表示されないとき 60
電源が入らないとき 59
- W**
Wake On LAN 機能が動作しない 71
- Z**
Zip ドライブ, インストール 13, 40
- あ**
アクセサリ・ボード
インストール 18, 44
設定 21, 22, 47
- い**
インストール
CD-ROM ドライブ 13, 40
Zip ドライブ 13, 40
アクセサリ・ボード 18, 44
キー・ロック 26, 51
大容量記憶装置 7, 34
セキュリティ・ケーブル 23, 48
テープ・ドライブ 13, 40
ハードディスク・ドライブ 10, 37
- メモリ 5, 32
- お**
オーディオに問題があるとき 73
音響ノイズ・エミッション 86
- か**
カバー
取り付け 4, 30
取り外し 3, 29
管理者パスワードの設定 55
- き**
キーボード, POST エラー 62
キー・ロック, インストール 26, 51
技術情報
DMA 88
I/O アドレス 88
IRQ 88
音響ノイズ・エミッション 86
システム・ボード・スイッチ 85
電力消費 86
物理的特性 87
- さ**
サポート, HP 90
- し**
システム・ボード・スイッチ 85
修復
BIOS アップデートの失敗 80
シリアル・ポート, POST エラー 66
- せ**
セキュリティ・ケーブル, インストール 23, 48
接続, IDE デバイス 7, 34
設定
IDE デバイス 9, 36
アクセサリ・ボード 21, 22, 47
- そ**
ソフトウェアに問題があるとき 74
- た**
大容量記憶装置, インストール 7, 34
- て**
テープ・ドライブ, インストール 13
デバイスのブート順 84
電源装置
取り付け 31
取り外し 31
電力消費 86
- と**
取り付け
カバー 4, 30
電源装置 31
取り外し
- カバー 3, 29
電源装置 31
- は**
ハードディスク・ドライブ
POST エラー 64
インストール 10, 37
内容の復元 75
パスワード
BIOS パスワードの使用 54
管理者パスワード 55
設定 54
ユーザ・パスワード 56
忘れたとき 70
パスワードの設定 54
バッテリー, 交換 24
パラレル・ポート, POST エラー 66
- ふ**
復元
ハードディスクの内容 75
物理的特性 87
フロッピーディスク・ドライブ, POST エラー 63
- ま**
マウス, POST エラー 62
- め**
- メモリ**
POST エラー 61
インストール 5, 32
- も**
問題
Beep コード 68
BIOS アップデートの失敗 80
CD-ROM ドライブ 64
CMOS 65
IRQ の競合 72
PC をオフにできないとき 69
Wake On LAN 機能が動作しない 71
オーディオ 73
キーボード 62
シリアル・ポート 66
ソフトウェア 74
パスワードを忘れたとき 70
パラレル・ポート 66
ハードディスクの内容の復元 75
ハードディスク・ドライブ 64
フロッピーディスク・ドライブ 63
マウス 62
メモリ・テストエラーが表示されるとき 61
画面に何も表示されないとき 60
電源が入らないとき 59
- ゆ**
ユーザ・パスワードの設定 56



Part Number D6538-UPG-ABJ
Created in France 05/98